

令和8年2月氷見市議会予算内示に伴う全員協議会資料

重要な事業説明資料

令和8年2月9日

目 次

頁	
1	総合計画策定事業費【未来戦略課】
2	ひみ大好き若者貢献促進事業費【未来戦略課】
3	定住促進事業費【未来戦略課】
4	空き家活用まちづくり事業費【未来戦略課】
5	地域活力創造支援事業費【地域振興課】
6	氷見駅を核としたまちづくり事業費【地域振興課】
7	NPOバス運営推進事業費【地域振興課】
8	復興まちづくり推進事業費（能登半島地震災害関連）【地域振興課】
9	アンコンシャス・バイアス解消推進事業費【地域振興課】
10	防災行政無線整備事業費【地域防災課】
11	行政経営推進事業費【総務課】
12	働きやすい職場づくり推進事業費【総務課】
13	生活困窮者自立支援事業費【福祉介護課】
14	高齢者見守り移動販売支援事業費【福祉介護課】
15	物価高対策生活者支援事業費【福祉介護課】
16	保育補助者雇用強化事業費【子育て支援課】
17	乳児等通園支援事業費【子育て支援課】
18	放課後児童対策事業費【子育て支援課】
19	児童育成支援拠点事業費【子育て支援課】
20	こどもの遊び場等環境整備推進事業費【子育て支援課】
21	子育て家庭支援給付金支給事業費【子育て支援課】
22	初期救急医療体制推進事業費【健康課】
23	現年社会福祉施設災害復旧事業費（単独・能登半島地震災害関連）【健康課】
24	施設整備費【病院事業管理室】
25	一般廃棄物収集体制再構築事業費【環境保全課】
26	不燃物処理センター埋立処分地整備事業費【環境保全課】
27	若者・女性が活躍する企業づくり支援事業費【商工観光課】
28	若者・女性のキャリアアップ支援事業費【商工観光課】
29	ふるさと納税推進事業費【商工観光課】
31	創業・継業支援事業費【商工観光課】
32	小規模事業者設備投資促進補助金（能登半島地震災害関連）【商工観光課】
33	食と自然・景観を活かしたまちづくり事業費【商工観光課】
35	獅子舞魅力発信事業費【商工観光課】
36	物価高対策消費拡大支援事業費【商工観光課】
37	物価高対策観光需要喚起事業費【商工観光課】
38	現年農地施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）【ふるさと整備課】
40	除雪DX推進事業費【道路課】
41	現年公共土木施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）【道路課】
41	惣領大窪線2号橋災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）【道路課】
46	都市公園民間活力導入検討事業費【都市計画課】
47	安全・安心とやまの住まい耐震化促進事業費【都市計画課】
48	学校給食支援事業費【学校教育課】
49	学びの機会支援事業費【教育総合センター】
50	教育文化センター機能強化推進事業費【文化振興課】
51	ふれあいスポーツセンター長寿命化改修事業費【スポーツ振興課】
53	市議会議員選挙費【選挙管理委員会事務局】

総合計画策定事業費（予算額3,755千円）

1 背景、経緯及び効果

第9次総合計画前期基本計画が令和8年度で終了するため、前期基本計画等を検証し、能登半島地震などによる社会環境の変化等を踏まえ、後期基本計画（令和9年度～）を策定するもの。

2 事業概要

第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略と整合を図り、市民の意見を集約して、総合計画審議会において審議し、後期基本計画を策定する。

(1) 委員構成

総合計画審議会30名（学識経験者、行政機関・各種団体の代表者及び公募による市民）

(2) 事業費内訳

ア 審議会開催費 281千円

委員費用弁償191千円、会場使用料74千円、会議お茶代16千円

イ 計画策定費 3,474千円

デジタルブック作成費2,420千円、土地利用図作成委託料1,034千円、参考図書代20千円

(3) 策定スケジュール

令和8年 5月 基本計画骨子案の策定

10月 基本計画素案の策定

令和9年 1月 審議会からの基本計画の答申

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 4 市民とともにつくる持続可能なまち

[政策] 1 市民全体のまちづくり

[施策] 1 まちづくりの市民参加の推進

[主要施策] (1) 市政への参画機会の充実

4 財源措置

繰入金 ふるさとづくり基金繰入金 3,700千円

一般財源 55千円

5 将来にわたるコスト計算

計画的に政策等を推進して、効率的、効果的な行政運営を行う。

ひみ大好き若者貢献促進事業費（予算額1,022千円）

1 背景、経緯及び効果

若者に選んでもらえる地域を目指して、本市とつながる若者を増やすとともに、その中で本市に貢献したいと意欲のある若者による取組を支援して本市の活力につなげるもの。

2 事業概要

- (1) 氷見につながる若者を増やす 22千円
市内外の氷見に貢献したいと思う若者を募集し、登録者を対象に情報の提供や交流会を開催する。
ア 氷見とつながる若者（18歳～39歳）を募集し、登録証を交付
イ 登録者への本市の最新情報の提供
ウ 登録者交流会（市内、首都圏、中京、関西）の開催
- (2) 若者氷見貢献・応援プロジェクト支援 1,000千円
意欲のある活動的な若者をグループ化し、それぞれの氷見への貢献・応援活動（若者が集うイベントなど）の企画・運営を委託して支援する。（250千円×4回）
- (3) 事業費内訳
- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 登録用用紙消耗品費 | 1千円 |
| 交流会会場使用料 | 21千円 |
| <u>貢献・応援活動委託料（250千円×4回）</u> | <u>1,000千円</u> |
| 合計 | 1,022千円 |
- (4) 事業スケジュール
- 令和8年4月～ 登録の募集
5月～ 登録者に本市の最新の情報を提供
10月～ 交流会の開催・若者グループによるイベント等の企画・運営

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
[政策] 5 活気にあふれる地域づくり
[施策] 3 多様な交流の推進
[主要施策] (1) 交流・関係人口の創出・拡大

4 財源措置

一般財源 1,022千円

5 将来にわたるコスト計算

市内の若者が減少しているなかで、本市に関わる市内外の若者を増やし、本市の活力につなげる。

定住促進事業費（予算額22,100千円）

1 背景、経緯及び効果

定住に特化する事業費とし、その促進に向けて、定住マイホーム取得支援補助金等を拡充するもの。

2 事業概要

- (1) 定住マイホーム取得支援補助金【拡充】 8,500千円
 子育て世帯及び新婚世帯に対する補助金を200千円から500千円に引き上げるとともに、新婚世帯の対象要件を婚姻から1年以内を3年以内とする。
 ア 対象 子育て世帯、新婚世帯、居住誘導区域内、三世代同居及び三世代近居
 イ 内訳 子育て世帯及び新婚世帯 6,000千円（500千円×12件）
 居住誘導区域内 900千円（100千円×9件）
 三世代同居 1,500千円（300千円×5件）
 三世代近居 100千円（100千円×1件）
- (2) 住宅リフォーム支援補助金【拡充】 13,000千円
 新婚世帯の対象要件を婚姻から1年以内を3年以内とする。
 ア 対象 子育て世帯、新婚世帯、30歳未満世帯及び三世代同居
 イ 内訳 13,000千円（500千円×26件）
- (3) まちなか居住支援補助金 600千円
 ア 対象 まちなか地区での隣接土地購入及び売却
 イ 内訳 売主：200千円（100千円×2件）
 買主：400千円（200千円×2件）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
 [政 策] 3 快適で住みやすい都市環境の整備
 [施 策] 2 快適な生活基盤の構築
 [主要施策] (2) 住宅環境の整備

4 財源措置

県支出金	地域少子化対策重点推進交付金（補助率2/3）	866千円
繰入金	ふるさとづくり基金繰入金	21,200千円
一般財源		34千円

5 将来にわたるコスト計算

定住の促進を図り、人口減少の抑制及び地域の活力につなげる。

空き家活用まちづくり事業費（予算額49,594千円）

1 背景、経緯及び効果

増加する空き家を減らしていくために、新たに活用に向けた補助制度を創設するほか、相談から解決に導く仕組みを構築して実施するとともに、低価格の空き家の流通を促進するため、成約等報奨金を引き上げるもの。

2 事業概要

- | | |
|------------------------------------------------------------------|----------------------|
| (1) 空き家利活用支援事業費補助金【新規】 | 24,000千円 |
| 空き家の流通を促進し、まちづくりに活かすため、店舗等への改修経費に対して支援する。 | |
| ア 第3期総合戦略の取組に基づく施設（飲食店や宿泊施設、シェアオフィス等）への改修 | |
| 〔補助率1/2 上限3,000千円〕 | 21,000千円（3,000千円×7件） |
| イ それ以外の施設への改修 | |
| 〔補助率1/2 上限1,000千円〕 | 3,000千円（1,000千円×3件） |
| (2) 空き家に関する総合的な相談（報償費）【新規】 | 192千円 |
| I J U応援センターにおいて相談を受けた空き家や空き地等の問題に対して、専門家による検討会（月2回程度）で解決策を協議して回答 | |
| (3) 空き家等流通促進報奨金【拡充】 | 2,700千円 |
| （仲介手数料0円空き家バンク） | |
| ア 登録時報奨金：100千円→150千円 | 900千円（150千円×6件） |
| イ 成約時報奨金：200千円→300千円 | 1,800千円（300千円×6件） |
| (4) 空き家優良物件化補助金 | 21,000千円（3,000千円×7件） |
| (5) 空き家片付け支援補助金 | 900千円（300千円×3件） |
| (6) 空き家情報バンク登録促進奨励金 | 100千円（50千円×2件） |
| (7) その他（みなとがわ倉庫の管理費など） | 702千円 |

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
[政策] 5 活気にあふれる地域づくり
[施策] 2 I J Uターンの促進
[主要施策] (1) 相談窓口や補助制度の充実

4 財源措置

国庫支出金 空き家対策総合支援事業費補助金（補助率1/2、1/3）	22,800千円
一般財源	26,794千円

5 将来にわたるコスト計算

空き家の増加を抑制するとともに、地域の活力に寄与する。

地域活力創造支援事業費（予算額11,162千円）

1 背景、経緯及び効果

これまでのおらっっちゃ創生支援事業費補助金を見直し、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標I「魅力的な地域をつくる」に向けてオール氷見で地域の活力の創造に取り組んでいくため、自発的、自主的な取り組みを支援する。また、担い手不足や新型コロナウイルス感染拡大、能登半島地震等により休止している地域の獅子舞の再開に向けて新たに支援して地域のコミュニティの維持につなげるもの。

2 事業概要

地域活力創造支援事業費補助金

- (1) 「魅力的な地域をつくる」に向けた支援【見直し】 5,000千円（10件分）
- ① 補助対象
自治会や各種団体が実施する「将来に希望の持てるまちをつくる」や「地域の持続性を確保する」に向けた取組
 - ② 補助金額等
事業費100千円以上を対象とし、補助率2/3で補助上限を500千円とし、交付は最長継続で3年間までとする。
- (2) 地域コミュニティの維持に向けた獅子舞等の持続性の確保に向けた支援
- ① 獅子舞の再開に向けた支援【新規】 1,000千円（5件分）
 - ア 補助対象
5年以上獅子舞を実施していない地域が自治会や団体等が祭りで行う獅子舞をまわす経費（人件費、旅費、飲食代及び政教分離の原則に抵触するものを除く）
 - イ 補助金額等
各地域1回限りとし、補助率10/10で補助限度額を200千円とする。
 - ② 伝統芸能の用具等の整備に対する支援 4,000千円（4件分）
【継続・地域生活基盤整備支援事業費から移管】
 - ア 補助対象
自治会や団体が実施する獅子舞などの伝統芸能の用具の購入及び維持等や保存継承する団体の設立に要する経費
 - イ 補助金額等
事業費が500千円以上を対象とし、補助率1/2で補助上限を1,500千円とする。
- (3) 旧おらっっちゃ創生支援事業費補助金経過措置分 1,100千円
- (4) その他（報償費、お茶代） 62千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 5 活気にあふれる地域づくり
- [施策] 1 市民によるまちづくりの促進
- [主要施策] (1) まちづくりへの参画意識の醸成と体制支援

4 財源措置

繰入金 ふるさとづくり基金繰入金 11,100千円
一般財源 62千円

5 将来にわたるコスト計算

地方創生に向けて、自治会や各種団体などオール氷見で取り組むことで、より大きな活力となり、目指す魅力的な地域の実現に寄与する。

氷見駅を核としたまちづくり事業費（予算額9,629千円）

1 背景、経緯及び効果

活力とにぎわいのある「ひみ」の創造に向けて、まちづくりの拠点となる氷見駅周辺への人の流れをつくり、賑わいを創出するため、「氷見駅周辺まちづくり構想（仮称）」を策定するとともに、氷見駅を起点としたまちづくりの推進に向けて、「氷見駅からひみ番屋街までの新交通システム」の検討を行うもの。

2 事業概要

(1) 「氷見駅周辺まちづくり構想（仮称）」の策定

氷見駅周辺の将来像や方向性等をまとめるため、必要なアンケート調査や将来動向、分析等の業務を委託するとともに、関係団体等で構成する策定委員会を設けて、構想を策定する。

【事業費（9,609千円）】

構想策定業務委託料9,394千円、策定委員報償費（11人×3回分）210千円、需用費（お茶代）5千円

【策定スケジュール】

令和8年 7月 第1回策定委員会（氷見駅周辺の現状・課題の整理）
9月 第2回策定委員会（今後の取組方針等の検討）
10月 第3回策定委員会（構想案の決定）

(2) 「氷見駅からひみ番屋街までの新交通システム」の検討

サウンディング型市場調査の手法により、新交通システムの安全性や市場性、効率性等を踏まえて、移動の足の確保や利便性の向上等による地域の活性化などの提案等をもらい、その中から提案採用者と新しい交通システムの構築に向けた対話・協議を行う。

【選定委員】

地域住民の代表者、まちづくりに関する有識者及び市長 5名

【事業費（20千円）】

選定委員報償費（4人分）20千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 2 働きたいまち
[政策] 3 商工業の活力が持続・発展するまちづくり
[施策] 3 中心市街地の活性化
[主要施策] (1) まちなかの賑わいの創出

4 財源措置

繰入金 ふるさとづくり基金繰入金 9,600千円
一般財源 29千円

5 将来にわたるコスト計算

城端線・氷見線鉄道事業再構築事業による両線の利便性・快適性の向上を活かして、氷見駅周辺及び氷見駅を起点としたまちづくりを進め、定住や観光などの活力創造につなげる。

NPOバス運営推進事業費（予算額31,931千円）

1 背景、経緯及び効果

料金収入等が減少傾向にあるなかで、中山間地域等の移動手段を支える地域運営NPOバスの持続性を確保するために、「地域運営NPOバスの持続性の確保に向けた基本方針」に基づき、運行経費に対する補助を拡充するもの。

2 事業概要

NPOバスのデマンド運行の実施により、国及び県から地域公共交通確保維持改善事業費補助金が交付され、市の負担額が軽減される。地域運営NPOバスの持続性とそれを支える市の財政負担等を勘案して、氷見市NPO交通空白地バス路線支援事業費補助金の補助率を現行の10分の6から10分の7に引き上げるとともに、運行収入等が運行経費の10分の4以上となっていたものを10分の3以上として支援を拡充する。

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 2 快適で住みやすい都市環境の整備
- [施策] 3 地域交通網の確保
- [主要施策] (1) 市内交通網の確保

4 財源措置

国庫支出金	地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率1/2）	2,579千円
県支出金	NPO交通空白地バス路線支援事業費補助金（補助率1/2・1/3）	6,949千円
一般財源		22,403千円

5 将来にわたるコスト計算

地域運営NPOバスの運行を支援して、日常生活に不可欠な交通インフラの維持・確保につなげる。

復興まちづくり推進事業費（予算額13,898千円）

1 背景、経緯及び効果

甚大な被害のあった地区の自主的な復興に関する計画作成やコミュニティ維持、解体跡地の暫定利用に対する活動を支援するとともに、市内の解体跡地で住民が憩う公園の整備や雑草対策に対し補助等を行うもの。

2 事業概要

氷見市復興まちづくり推進会議の運営及び復興まちづくりに関する地域への支援

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| (1) 復興まちづくり推進会議[復旧・まちづくり検討会議を改編]
専門家や地域委員等で、課題の議論やアイデアを抽出
委員の旅費や報償費、食糧費、助言者の旅費と報償費 | 198 千円 |
| (2) 地区計画等支援[継続、4地区対象]
地区の特性とニーズを踏まえた計画作成や区画整理の推進
会議開催費等 500 千円×5か所 | 2,500 千円 |
| (3) イベント支援[継続、4地区対象]
地区を離れた住民も参加できるイベント経費や通信費を支援
補助率 1/2 で上限 200 千円×4か所 | 800 千円 |
| (4) ひみ花プロジェクト[新規、4地区対象]
整地費や培養土・種・苗購入費、水道代等の必要経費を支援
補助率 10/10 で上限 100 千円×4か所 | 400 千円 |
| (5) 地区活動支援[新規、4地区と他地区対象]
4地区や他地区の解体跡地を活用した公園整備等を支援
4地区補助率 10/10 で上限 1,000 千円×5か所
他地区補助率 2/3 で上限 1,000 千円×2か所 | 7,000 千円 |
| (6) 雑草対策支援[新規、解体跡地対象]
解体跡地に実施する防草シートの設置等を支援
1軒当たり3万円を上限に係る費用の 1/2 を補助
申請数見込み 100 軒×30 千円 | 3,000 千円 |

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 4 市民とともに作る持続可能なまち
[政 策] 1 市民主体のまちづくり
[施 策] 1 まちづくりへの市民参画の推進
[主要施策] (1) 市政への参画機会の充実

4 財源措置

繰入金 ふるさとづくり基金繰入金 13,800千円
一般財源 98千円

5 将来にわたるコスト計算

被害が甚大な地区における課題やニーズを踏まえた復興に向けた取組みの促進につなげる。

アンコンシャス・バイアス解消推進事業費（予算額4,602千円）

1 背景、経緯及び効果

人口減少の要因として、進学を機に転出した若者や女性が戻ってきていないことが挙げられており、それには古い考え方や慣習などが影響していることから、その解消に向けて性別によるアンコンシャス・バイアスの理解を深め、その解消を図るもの。

2 事業概要

自治振興委員に対する講演会や地域・経済分野におけるワークショップを開催して、改善に向けた意識の醸成を図るとともに、解消に向けて取り組む内容について話し合い、それを反映して、プラン検討会議での審議を踏まえ、みんなのアクションプラン（地域・経済）を策定する。

【事業費】

- (1) 意識の醸成に係る経費 1,525千円
 - ・自治振興員向けの講演会開催費
 - ・地域向け・事業所向けのワークショップ開催費（各2回）
- (2) アクションプラン策定等に係る経費 1,097千円
 - ・専門家による検討会議の運営委託料及び検討会議委員の報償費等（会議2回）
 - ・アンケート実施に係る郵便料
 - ・プラン印刷費
- (3) アドバイザー等に係る経費 1,980千円
 - ・年間を通じた専門的知見による企画及びコーディネーター等委託料

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
[政策] 5 一人ひとりが尊重される社会の実現
[施策] 1 人権尊重社会の形成
[主要施策] (2) 男女共同参画の推進

4 財源措置

繰入金 ふるさとづくり基金繰入金 4,600千円
一般財源 2千円

5 将来にわたるコスト計算

性別によるアンコンシャス・バイアスを解消して、若者や女性に選ばれ、活躍できる地域づくり、活力とにぎわいのある「ひみ」の創造につなげる。

防災行政無線整備事業費（予算額14,993千円）

1 背景、経緯及び効果

本市では、災害発生時等における被災者への情報伝達手段として、市全域を通信エリアとしてカバーすることを基本としたMCA無線方式による防災行政無線システムを活用してきたが、令和11年5月31日をもって通信サービスが終了するため、確実に情報伝達ができるよう、本市の地形的特徴等を考慮した最適な防災行政無線システムを整備する必要があるもの。

2 事業概要

電波伝搬調査等の基本調査を含め、主となる2方式「①デジタル方式（自営網）」「②IP方式（携帯電話網）」の特徴を整理し、各種設備の比較検討、維持管理費等を基に、有効な防災行政無線システムを検討し、実施設計を行う。

(1) 事業費

委託料 14,993千円（実施設計業務委託）

(2) 事業スケジュール

令和8年度 実施設計（基本調査含む）
令和9年～令和10年度 工事施工

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 1 災害に強い安全・安心なまちづくり
- [施策] 1 防災・減災対策の充実
- [主要施策] (1) 危機管理体制の強化

4 財源措置

市債 緊急防災・減災事業債（充当率100% 交付税算入率70%）14,900千円
一般財源 93千円

5 将来にわたるコスト計算

災害発生時において重要な情報伝達である防災行政無線を整備し、市民の安全・安心な日常生活の確保と災害に強いまちづくりにつなげる。

行政経営推進事業費（予算額7,716千円）

1 背景、経緯及び効果

市民ニーズの高度化・複雑化に伴い、行政が直面する課題は多様化している。これらの課題に的確に対応するためには、職員一人ひとりの能力向上に加え、組織全体としての対応力を強化することが求められている。

そのため、業務の効率化や改善に向けた意識付けとともに、職員のコンプライアンス意識の醸成に取り組むことで、全庁的な業務改革とコンプライアンスの推進を図り、最終的には市民サービスの向上につなげていくもの。

2 事業概要

(1) 業務改善に向けた意識付け及び実践【新規】 5,621千円（委託料）

各課から1名選出した行革推進リーダー（仮称）を対象に、業務改善体験ワークショップを開催し、業務改善の進め方等を学び、各課へのヒアリング等を踏まえて、モデル事業を2～3件抽出し、委託事業者による伴走型支援のもとで業務改善に取り組む。

ア 業務改善体験ワークショップの開催

イ 業務改善モデル事業（2～3件）における業務改善の実践

ウ 業務改善案の取りまとめ及び行政改革プランへの反映

(2) カスタマーハラスメント対策【新規】 1,713千円（使用料及び賃借料）

カスタマーハラスメント対策マニュアルの実効性を高めるとともに、電話対応に伴う職員の精神的負担や長時間対応による通常業務への支障を軽減するため、自動録音告知機能や通話録音機能、音声応答機能などを導入する。

(3) その他 382千円（報償費、委託料）

コンプライアンス委員会の開催、ハラスメント防止研修の実施、公益通報窓口の設置など

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 4 市民とともにつくる持続可能なまち

[政策] 2 効率的な行財政運営

[施策] 1 経営的な視点による持続可能な行財政運営

[主要施策] (2) 職員力・組織力の向上

4 財源措置

一般財源 7,716千円

5 将来にわたるコスト計算

市民から信頼される市政運営を実現するため、全職員が一体となってコンプライアンスの推進に取り組むとともに、職員の意識改革と行政改革を進め、業務の効率化を図ることで、最終的に市民サービスの向上に繋げる。

働きやすい職場づくり推進事業費（予算額6,537千円）

1 背景、経緯及び効果

労働人口の減少により人材確保が一層困難となる中、職員の離職防止と定着促進の重要性はこれまで以上に高まっており、「気持ちよく働ける職場環境づくり」をテーマに職員から募集した提案のうち、効果的かつ実施可能なものから順次取り組み、働きやすい職場環境の実現を目指すもの。

2 事業概要

- (1) B棟2階打合せスペースのリニューアル 2,893千円
個人利用や複数人での打合せなど、業務内容や目的に応じて柔軟に活用できる環境を整えるため、机や椅子などの備品を更新する。 ※詳細は別紙
- (2) 301会議室のリニューアル 3,543千円
ランチルームとしての充実を図るとともに、大人数での会議など多目的に使用できるよう、机や椅子などの備品を更新する。 ※詳細は別紙
- (3) その他 101千円
 - ア オフィスランチ等の充実（市内飲食店の出張販売等） ゼロ予算
 - イ 繁忙期における「お助け制度」の導入（職員同士の支援体制の構築） ゼロ予算
 - ウ 外部経験を取り入れた本市組織風土の改善（ワークショップ等の開催） ゼロ予算
 - エ 庁内BGMの導入（朝、昼、夕） 101千円
- (4) 事業費内訳
役務費80千円、使用料及び賃借料101千円、備品購入費6,356千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 4 市民とともにつくる持続可能なまち
[政策] 2 効率的な行財政運営
[施策] 1 経営的な視点による持続可能な行財政運営
[主要施策] (2) 職員力・組織力の向上

4 財源措置

一般財源 6,537千円

5 将来にわたるコスト計算

職員のニーズに応じた取組みを展開し、職員の離職防止と定着促進を図ることで、気持ちよく働ける職場環境づくりを進め、企画立案能力の向上と市民サービスの更なる充実へと繋げる。

生活困窮者自立支援事業費（予算額45,699千円）

1 背景、経緯及び効果

生活困窮者自立支援法等に基づき、様々な困難を抱えている生活困窮者に対して、自立に向けた支援を重層的に行うもの。

2 事業概要

(1) ひきこもりステーション事業【新規】 9,298千円（委託料）

ひきこもり支援コーディネーターを3名配置するひきこもりステーションを新たに設置し、相談支援の強化を行うとともに、当事者にとって自宅以外に安心して自由に過ごせる場・社会復帰の前段階の中間的な受け入れの場としての機能を持つ居場所づくりや、家族会の開催、住民向けの研修会の開催等を実施する。

【事業内容】 相談支援事業、居場所づくり事業、連絡協議会・ネットワークづくり事業、当事者会・家族会開催事業、住民向け講演会・研修会開催事業

(2) その他【継続】

ア 被保護者就労準備支援事業（委託料）	6,331千円
イ 住居確保給付金（扶助費）	360千円
ウ 生活困窮者自立相談支援事業（委託料）	16,472千円
エ 家計改善支援事業（委託料）	2,819千円
オ 子どもに対する学習支援事業（委託料）	6,633千円
カ その他（人件費等）	3,786千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 2 誰もが元気に過ごせるくらしの充実
- [施策] 1 持続可能な地域福祉の推進
- [主要施策] (1) 地域で支え合う福祉の推進

4 財源措置

国庫支出金	生活困窮者自立支援事業費負担金（負担率3/4）	3,106千円
国庫支出金	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 （補助率1/2、2/3、3/4）	14,064千円
国庫支出金	重層的支援体制整備事業費交付金（補助率3/4）	12,354千円
一般財源		16,175千円

5 将来にわたるコスト計算

様々な困難を抱えている生活困窮者の自立と尊厳の確保、支援を通じた地域づくりを目指す。

高齢者見守り移動販売支援事業費（予算額700千円）

1 背景、経緯及び効果

市内の中山間地域において、日常生活に必要な食料品や日用雑貨品等の販売を通じ、高齢者の見守りの役割も担う移動販売事業者等に対し、その運営経費の一部を支援し、高齢者の見守り体制の充実を図るもの。

2 事業概要

(1) 補助対象者

氷見市内の中山間地域で週1回以上、自動車により生鮮三品（食料品の中でも特に鮮度が求められる「青果（野菜・果物）」「鮮魚」「精肉」の3つの食材のこと）及び日用雑貨品等の移動販売を実施し、併せて定期的な個別訪問等による高齢者の見守り活動を行う事業者や団体等

(2) 補助対象経費

移動販売車の燃料費、消耗品費、広告費

(3) 補助金額等

移動販売車1台あたり、年額100千円を上限に補助（補助率1/2）

(4) 事業費

補助及び交付金 700千円（100千円×7事業者）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 1 住みたいまち

[政策] 2 誰もが元気に過ごせるくらしの充実

[施策] 1 持続可能な地域福祉の推進

[主要施策] (2) 包括的な支援体制の整備と人材の確保

4 財源措置

繰入金 社会福祉事業振興基金繰入金 700千円

5 将来にわたるコスト計算

市内の中山間地域における高齢者の見守り体制の充実につなげる。

物価高対策生活者支援事業費（予算額136,000千円）

1 背景、経緯及び効果

物価高の影響を受ける低所得世帯及び75歳以上の後期高齢者世帯への生活支援として、地域内商品券を配布し、経済的負担の軽減を図るもの。

2 事業概要

(1) 事業内容

基準日において氷見市に住民登録のある低所得世帯及び後期高齢者のみ世帯の世帯主に対し、ひみキトキト商品券を交付する。

(2) 対象者、支援額等

対 象 者	世 帯 数	支 援 額
令和7年度住民税非課税世帯の世帯主	4,100世帯	2万円相当の商品券
令和7年度均等割りのみ課税世帯の世帯主	1,000世帯	
後期高齢者(75歳以上)のみ世帯の世帯主	1,200世帯	

(3) 基準日 令和8年1月1日

(4) 配布方法等 対象世帯へ引換券を送付。指定期間中に指定場所（プラファ及び商工会議所）にて引換券と商品券を交換する。

(5) スケジュール(予定)

令和8年4月末	対象者確定
5月中旬	引換券発送
5月中旬～6月末	引換券と商品券の交換期間
～9月末	商品券の使用期間
～11月末	使用済み商品券の換金

(6) 事業費 136,000千円（給付費126,000千円 事務費10,000千円）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政 策] 2 誰もが元気に過ごせる暮らしの充実
- [施 策] 1 持続可能な地域福祉の推進
- [主要施策] (1) 地域で支え合う福祉の推進

4 財源措置

国庫支出金 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 136,000千円
(補助率10/10)

5 将来にわたるコスト計算

長期化する物価高騰に対する支援措置を実施することにより、低所得世帯の経済的負担を軽減し、安心して自立した生活を送ることができる環境づくりにつなげる。

保育補助者雇用強化事業費（予算額7,323千円）

1 背景、経緯及び効果

離職率が高い傾向にある保育士の労働環境の改善と定着率の向上を目指し、保育士の勤務環境改善に取り組んでいる保育事業者を支援するもの。

2 事業概要

保育士の補助を行う保育補助者を雇用し、勤務環境の改善に取り組んでいる事業者に対して必要な経費の一部を補助する。

(1) 補助要件

潜在保育士、もしくは無資格であって保育に関する研修を受けた者等を雇用した保育事業者

(2) 補助基準額

保育補助者の経験年数に応じた補助基準額を交付（複数配置の場合は経験年数の平均で算定）

【定員121人未満の施設（年額）】

ア ～3年未満	1,953千円
イ 3年以上7年未満	2,441千円
ウ 7年以上	3,225千円

(3) 事業費

補助及び交付金 7,323千円（2,441千円×3園）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
- [政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実
- [施策] 1 子育て支援の充実
- [主要施策] (2) 健やかな子どもの成長支援

4 財源措置

県支出金	保育補助者雇上強化事業費補助金（補助率5/6）	6,102千円
繰入金	社会福祉事業振興基金繰入金	1,200千円
一般財源		21千円

5 将来にわたるコスト計算

保育補助者の雇用を支援することで保育の質と体制を強化し、現場の負担軽減や保育サービスの向上を図り、こどもを安心して育てることができる環境を整備する。

乳児等通園支援事業費（予算額1,968千円）

1 背景、経緯及び効果

令和8年度より全国で実施される乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について、本市においても実施し、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援の強化を図るもの。

2 事業概要

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施する市内保育所及び市外事業所（広域利用）に対して事業実施に係る費用を給付する。

(1) 対象児童

保育所、認定こども園、地域型保育施設、企業主導型保育施設に在籍していない生後6か月から満3歳未満のこども

(2) 利用時間 1月あたり10時間まで

(3) 事業費

扶助費 1,968千円

【給付単価（1時間あたり）】

0歳児 1,700円 1歳児 1,400円 2歳児 1,400円

(4) 利用者負担金

こども一人1時間当たり300円（国が定める標準的な利用料）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 3 育てたいまち

[政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実

[施策] 1 子育て支援の充実

[主要施策] (2) 健やかな子どもの成長支援

4 財源措置

国庫支出金 乳児等のための支援給付交付金（補助率3/4） 1,476千円

県支出金 乳児等通園支援事業費負担金（1/8） 246千円

分担金及び負担金 乳児等通園支援事業費負担金（利用者負担金） 144千円

一般財源 102千円

5 将来にわたるコスト計算

事業実施に係る費用を給付することにより、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援の強化を図る。

放課後児童対策事業費（予算額200,596千円）

1 背景、経緯及び効果

昼間保護者のいない家庭の小学生を対象に保護者が帰るまでの間、児童を預かり、育成・指導を行うため、放課後児童クラブ事業を委託して実施するもの。

2 事業概要

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| (1) 放課後児童クラブ委託料 | 197,129千円 |
| 市内放課後児童クラブ（21クラブ）へ事業実施委託 | |
| (2) 小規模放課後児童クラブ支援事業【新規】 | 597千円 |
| 国の補助基準額が大幅に減少する児童数19人以下の小規模放課後児童クラブに対して経費の一部を委託料に加算する。（灘浦学童保育） | |
| (3) 放課後児童クラブ開設時間延長に伴う人件費補助事業【新規】 | 1,685千円 |
| 放課後児童クラブに登録している児童が、保護者の事情により開設時間を超えてクラブに滞在する必要性が生じた場合に、支援員及び補助員に係る人件費相当分を補助する。
（補助単価：1時間あたり2,700円） | |
| (4) その他 | 1,185千円 |
| 送迎支援事業委託13千円、光熱水費1,172千円 | |

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
- [政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実
- [施策] 2 仕事と子育てが両立できる環境の整備
- [主要施策] (1) 保育サービスや地域における子育て支援の充実

4 財源措置

使用料及び手数料	児童福祉施設使用料	150千円
国庫支出金	子ども・子育て支援交付金（補助率1/3）	65,230千円
県支出金	子ども・子育て支援交付金（補助率1/3）	65,230千円
繰入金	ふるさとづくり基金繰入金	20,459千円
一般財源		49,527千円

5 将来にわたるコスト計算

子どもの放課後の安全な居場所を充実させ、保護者の仕事と子育ての両立につなげる。

児童育成支援拠点事業費（予算額9,985千円）

1 背景、経緯及び効果

養育環境等に課題（不登校、ひきこもり等）を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、当該児童等の居場所となる場を開設し、虐待の防止や、こどもの最善の利益の保障と健全な育成を図るもの。

2 事業概要

養育環境に課題を抱える児童等の居場所となる場を開設し、生活習慣の形成や学習サポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行うとともに、児童及び家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等の個々の児童等の状況に応じた支援を包括的に提供する。

(1) 対象者

- ① 食事、衣服、生活環境等について、不適切な養育状態にある児童等、養育環境に関して課題のある主に学齢期以降の児童及びその保護者
- ② 家庭のみならず、不登校の児童や学校生活になじめない児童等、家庭以外にも居場所のない主に学齢期以降の児童及びその保護者
- ③ その他、事業の目的に鑑みて、市町村が関係機関からの情報により支援を行うことが適切であると判断した主に学齢期以降の児童及びその保護者

(2) 定員 20名

(3) 開催日時 毎週月～金曜日 8:30～19:00

(4) 開催場所：いきいき元気館2F

(5) 支援内容

- ① 安全・安心な居場所の提供
- ② 生活習慣の形成（片付けや手洗い、うがい等の健康管理の習慣づけ等）
- ③ 学習の支援（宿題の見守り、学校の授業や進学のためのサポート等）
- ④ 食事の提供
- ⑤ 課外活動の提供（調理実習、農業体験、年中行事の体験や学校訪問等）
- ⑥ 学校、医療機関、地域団体等の関係機関との連携及び関係構築
- ⑦ 保護者への情報提供、相談支援
- ⑧ 送迎支援（地域の実情に応じて実施）

(6) 事業費 委託料9,985千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
[政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実
[施策] 1 子育て支援の充実
[主要施策] (3) 様々な状況の家庭への支援

4 財源措置

国庫支出金	子ども・子育て支援交付金（補助率1/3）	3,328千円
県支出金	子ども・子育て支援交付金（補助率1/3）	3,328千円
繰入金	社会福祉事業振興基金繰入金	3,300千円
一般財源		29千円

5 将来にわたるコスト計算

生活習慣・学習支援・進路相談・心理的ケアを一体的に提供することで、児童等の生活能力の向上や成長及び自信の形成を後押しする。

こどもの遊び場等環境整備推進事業費（予算額1,493千円）

1 背景、経緯及び効果

本市での「こどもまんなか」社会の実現を目指し、氷見市こども計画等に掲げる「こどもが楽しく遊ぶことができる、安全で安心な施設の整備」を推進し、こどもたちの健全な成長を支える環境づくりを展開するもの。

2 事業概要

(1) 全天候型こども施設の整備に向けた基本方針の策定

遊び場の整備に向けた基本方針を検討するに当たり、こどもや保護者、市民の意見を積極的に取り入れるためのワークショップ等を開催し、検討を進め、子ども子育て会議において、基本方針を決定する。

(2) 事業費内訳

区分	内容	事業費（千円）
報償費	ワークショップ等へ出席する専門家分	180
旅費	講師を依頼する専門家への交通費等	746
委託料	会議運営委託料	540
その他	会場借上料、会議用お茶代	27
計		1,493

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
- [政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実
- [施策] 2 仕事と子育てが両立できる環境の整備
- [主要施策] (2) 仕事と子育ての調和がとれる環境づくり

4 財源措置

一般財源 1,493千円

5 将来にわたるコスト計算

こどもが安心して遊ぶことのできる活動の場を整備することで、氷見市に住む未来を担うこどもたちが、心豊かに健やかに育ち、保護者が安心して子育てできる環境づくりに資する。

子育て家庭支援給付金支給事業費（予算額48,267千円）

1 背景、経緯及び効果

食費等の物価高の長期化の影響を受けている子育て家庭を支援するため、0歳から18歳までの児童がいる世帯に対して、給付金を支給するもの。

2 事業概要

(1) 対象者

氷見市に住所を有する18歳以下の児童 約4,750人

ア 平成19年4月2日から令和8年3月31日までに出生した児童で、令和8年4月1日時点において、氷見市の住民基本台帳に登録されている児童
約4,600人

イ 令和8年4月1日から令和8年12月31日までに出生した児童で、出生時に氷見市の住民基本台帳に登録されている児童
約120人

ウ 平成20年4月2日から令和8年12月31日までに出生した児童で、令和8年4月1日から令和8年12月31日までに氷見市に転入し住民基本台帳に登録された児童
約30人

(2) 給付金の額等

児童一人あたり 1万円

ア 市で口座を把握している世帯 給付金の支給の案内を送付し、市が指定する期限までに、受給拒否の届出があった世帯を除き、対象世帯に給付金を支給する。（受給拒否の届出がない場合は、受給の意向があるとみなす。）

イ 市で口座を把握していない世帯 申請書を受理し内容の審査後、随時支給する。

※ 申請期限：令和8年12月28日

（11・12月の出生及び転入児は令和9年1月29日）

(3) 事業費内訳

ア 給付金 47,500千円（1万円×4,750人）

イ 事務費 767千円（郵便料、口座振込手数料、封筒印刷代等）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 3 育てたいまち

[政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実

[施策] 1 子育て支援の充実

[主要施策] (1) 子育て家庭への支援の充実

4 財源措置

国庫支出金 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 48,267千円
（補助率10/10）

5 将来にわたるコスト計算

長期化する物価高騰に対する緊急的な支援措置を実施することにより、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりにつなげる。

初期救急医療体制推進事業費（予算額3,237千円）

1 背景、経緯及び効果

耳鼻咽喉科における初期救急医療体制の維持を目指し、新たに高岡市急患医療センターに耳鼻咽喉科を開設し、高岡医療圏の3市（高岡市・射水市・氷見市）の耳鼻咽喉科医と公的病院等の医師による当番制を実施するもの。

2 事業概要

高岡市急患医療センターでの耳鼻咽喉科の開設に必要な費用に対する氷見市負担金

(1) 連携自治体 氷見市、高岡市、射水市

(2) 連携する取組 高岡市急患医療センターにおける耳鼻咽喉科の開設

(3) 設備整備等

ア 整備機器	耳鼻咽喉科開設に伴う備品（内視鏡、聴力検査、電気メスなど）
イ 総事業費	28,962千円
ウ 各市の負担割合	均等割10%・人口割20%・患者割70%
エ 氷見市負担額	3,237千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 1 住みたいまち

[政策] 2 誰もが元気に過ごせるくらしの充実

[施策] 5 地域医療の確保

[主要施策] (2) 救急医療体制の確保

4 財源措置

一般財源 3,237千円

5 将来にわたるコスト計算

高岡医療圏3市での耳鼻咽喉科の開設により、初期救急医療体制の維持を図る。

現年社会福祉施設災害復旧事業費（単独・能登半島地震災害関連）
（予算額 8,558千円）

1 背景、経緯及び効果

能登半島地震の発生後、いきいき元気館の一部外構等については、令和6年3月に応急的な修繕を実施したところであるが、修繕が未了であったいきいき館周辺の路面の段差や地盤沈下による雨樋の破損等の復旧を行い、市民が安心して利用できる環境を整備するもの。

2 事業概要

いきいき館周辺の歩道部及び雨樋の復旧工事 8,558千円



3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
- [政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実
- [施策] 1 子育て支援の充実
- [主要施策] (2) 健やかな子どもの成長支援

4 財源措置

市債	一般単独災害復旧事業債	8,500千円
	(充当率100% 交付税算入率47.5~85.5%)	
一般財源		58千円

5 将来にわたるコスト計算

計画的に施設修繕を行い、施設の機能維持のための保全・長寿命化を図ることで、利用者数の確保や施設の有効活用を促進する。

施設整備費（予算額285,065千円）

1 背景、経緯及び効果

金沢医科大学氷見市民病院が、本市の中核病院として市民の生命と健康を守るために必要な医療を提供できるよう医療機能の維持、充実を図り、安全で安心な医療環境を整備するもの。

2 事業概要

病院建設時から使用している中央監視システム及びエアコン監視システムを更新するほか、院内照明のLED化工事を実施する。

(1) 院内照明LED化整備

市民病院の院内照明をLED化し、温室効果ガス排出量の削減や消費電力の削減を図る。

＜軽減効果見込＞

CO ² 排出量（1本当たり）	約115kg/年（519kg/4.5年）
電気料金	約14,800千円/年

(2) 中央監視システム整備

電気、水道、ボイラー、温水供給、給排気など、院内設備を一元管理するシステムを更新し、適切な運用と効率化を図る。

(3) エアコン監視システム整備

院内全体のエアコンを管理するシステムを更新し、適切な運用と効率化を図る。

【事業費】

工事設計委託料（院内照明LED化）	5,720千円
工事請負費	279,345千円
（うち院内照明LED化）	178,695千円
（うち中央監視システム）	93,500千円
（うちエアコン監視システム）	7,150千円
合 計	285,065千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政 策] 2 誰もが元気に過ごせるくらしの充実
- [施 策] 5 地域医療の確保
- [主要施策] (1) 地域医療体制の整備

4 財源措置

病院事業債（充当率100% 交付税算入率25%）	142,500千円
過疎対策事業債（充当率100% 交付税算入率70%）	142,500千円
一般会計出資金	65千円

5 将来にわたるコスト計算

金沢医科大学氷見市民病院の施設整備を計画的に行い、市民への安全で安心な医療環境の提供につなげる。

一般廃棄物収集体制再構築事業費（予算額7,930千円）

1 背景、経緯及び効果

可燃ごみの収集運搬業務は週6日間で行っているが、事業者における慢性的な人員不足等の解消が課題となっており、加えて、人口減少等により本市におけるごみ排出量も減少していることから、一般廃棄物収集業務全体の見直しによる新たな収集ルートの設定が求められている。収集運搬業務の契約更新を迎えるにあたり、デジタル技術を活用した実証事業を通して、新たな収集体制の構築とごみ処理体制の適正化により、事業者への負担軽減を図るとともに、効率的な業務運用によるコストの削減を目指すもの。

2 事業概要

ごみ収集車にタブレットを搭載してGPSから収集状況を可視化し、収集経路や所要時間等のデータを蓄積、それを分析して、平日間の効率的な収集ルートを導き、新たな効率的で持続可能な収集ルートを再構築する。

【事業費】委託料 7,930千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 4 人と自然が共生する環境づくり
- [施策] 1 循環型社会の形成
- [主要施策] (1) 3R・適正処理の推進

4 財源措置

一般財源 7,930千円

5 将来にわたるコスト計算

一般廃棄物収集業務全体の見直しにより、事業者の就労改善と収集運搬業務のコスト削減につなげ、循環型社会の形成に向けては、さらなる家庭系ごみの排出量削減を目指しながら、効率的で安定的なごみ収集体制を確立していく。



不燃物処理センター埋立処分地整備事業費（予算額 62,000 千円）

1 背景、経緯及び効果

昭和 57 年に竣工した不燃ごみ等の埋立て処分地については、埋立てが進む度に遮水範囲を拡大しながら使用している。南側の法面において、廃棄物が非遮水域に接近し、整地作業が難しくなっていることから、埋立処分地の安全で適正な管理に資するための対処が必要となっているもの。

2 事業概要

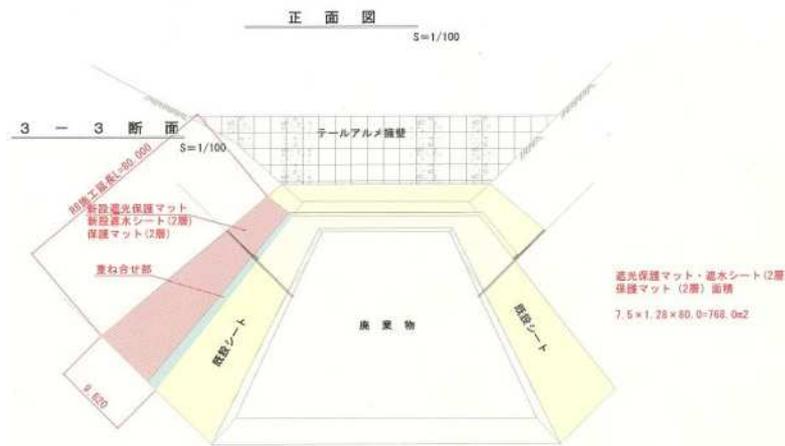
南側法面の遮水工事を施工する。

【工事内容】

南側法面の進入路整形及び埋戻し整地等の土木工事、遮水設備工事
施工延長 L=80.000m×9.620m =約 770 m²

【事業費】

工事請負費 62,000 千円



3 第 9 次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
[政策] 4 人と自然が共生する環境づくり
[施策] 1 循環型社会の形成
[主要施策] (1) 3R・適正処理の推進

4 財源措置

市債	一般廃棄物処理事業債（充当率 75% 交付税算入率 30%）	46,500 千円
一般財源		15,500 千円

5 将来にわたるコスト計算

現況に適合した埋立て処分地として適切に維持管理し、安定的に処理を継続していくことで循環型社会の形成を実現する。

若者・女性が活躍する企業づくり支援事業費（予算額6,500千円）

1 背景、経緯及び効果

本市では人口減少・少子高齢化の進行により、若者の市外流出や採用難が顕在化し、市内事業者の人材確保が喫緊の課題となっている。若者・女性に選ばれる職場づくりや働きやすい環境整備が定着に直結する一方、市内事業者では採用広報に十分取り組む体制が整っていない場合も多いことから、企業の採用広報の強化に加え、働きやすい職場づくりに対し支援するもの。

2 事業概要

若者・女性に選ばれる職場づくりを目指し、情報発信の強化や働きやすい職場づくりに取り組む市内の中小事業者に対し、その経費の一部を補助する。

事業内容	補助対象経費	補助率等	予算枠
①採用力向上を目的とした企業PR動画の制作	・動画制作外注費	1/2 上限200千円	200千円 ×5件 =1,000千円
②採用に関する自社ホームページの作成・改修	・ホームページ制作外注費		
③就職・転職サイトへの会社情報の掲載	・就職・転職サイトへの会社情報の掲載料		
④市外で開催される求人企業説明会等への出展	・出展負担金 ・出展ブース装飾品製作費		
⑤厚生労働省認定制度（えるぼし、くるみん、ユースエール）の取得【新規】	・社会保険労務士等への相談・伴走支援費用	10/10 100千円	100千円 ×5件 =500千円
⑥スポットワーク仲介サービスを活用した人材確保【新規】	・サービス利用手数料	1/2 上限50千円	50千円 ×100件 =5,000千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 2 働きたいまち
- [政策] 3 商工業の活力が持続・発展するまちづくり
- [施策] 4 産業人材の確保・育成
- [主要施策] (2) 勤労者福祉の増進と多様な人材が働き続けられる環境づくり

4 財源措置

国庫支出金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (補助率10/10)	5,000千円
繰入金	ふるさとづくり基金繰入金	1,500千円

5 将来にわたるコスト計算

若者・女性の市内定着や市内企業の人材確保の促進により、人口流出が減少し、氷見市の人口の安定につながる。

若者・女性のキャリアアップ支援事業費（予算額11,876千円）

1 背景、経緯及び効果

人手不足に直面する市内企業における業務効率化を推進するため、業務の切り出し及び外注化の取組みを支援するとともに、在宅・短時間勤務（多様な働き方）による就労機会の創出を図り、企業ニーズとの適切なマッチングを促進するほか、若者及び女性が市内企業において能力を十分に発揮し、継続的な活躍及び定着が図られるよう、研修の受講及び資格取得等を通じたキャリアアップを支援するもの。

2 事業概要

- (1) 市内企業の業務の一部切り出しと地域人材の活用・雇用確保 10,876千円
市内企業の業務を棚卸し・細分化し、外部委託が可能な業務を特定（業務の切り出し）するとともに、対応可能な地域人材の確保・育成とマッチングにより、生産性向上及び在宅等の柔軟な就業機会の拡大を図る。
- ・プロポーザル費用 21千円
 - ・委託料（業務切り出し調査費、ITスキルセミナー等）9,130千円
 - ・委託料（本格導入前テスト（庁内業務対応）経費）1,725千円
- (2) 資格取得支援補助金 1,000千円
若者（39歳以下）及び女性（年齢不問）の専門性向上のための資格取得に係る経費を補助し、キャリアアップを後押しするとともに、その専門性を生かした市内企業への採用及び採用後の定着を促進する。
- ・補助金 25千円/件×40件（20件（採用時）+20件（採用後））=1,000千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 2 働きたいまち
[政策] 3 商工業の活力が持続・発展するまちづくり
[施策] 4 産業人材の確保・育成
[主要施策] (2) 勤労者福祉の増進と多様な人材が働き続けられる環境づくり

4 財源措置

繰入金	ふるさとづくり基金繰入金	11,800千円
一般財源		76千円

5 将来にわたるコスト計算

多様な働き方による就労機会を創出し、市内企業における若者や女性の採用促進につなげる。

ふるさと納税推進事業費（予算額387,500千円）

1 背景、経緯及び効果

ふるさと応援寄附金受入額の拡大と安定化を図り、魅力あるまちづくりに取り組む事業の財源を確保するため、返礼品の質・量の向上や新たな返礼品提供事業者の参画促進等により、市内事業者の販路拡大や地域産業の活性化につなげるとともに、本市の認知度向上、関係人口の拡大を目指すもの。

2 事業概要

- (1) クラウドファンディング型ふるさと納税の導入【新規】 40,000千円
本市（事業者）が取り組みたいプロジェクトを提示し、目標金額、募集期間等を定め、それに共感した人が、ふるさと納税という形で資金を支援するCF型ふるさと納税を導入する。
（通常のふるさと納税）寄附金50%、返礼品30%、事務費20%
（CF型ふるさと納税）寄附金10%、返礼品30%、事務費20%、事業者40%
- (2) ふるさと納税ポータルサイトでの情報発信及び寄附受入【拡充】 341,740千円
ア 新規ポータルサイトの開設
3つのポータルサイト（JAL、一休.com、G-CALL）を開設し、更なる富裕層の寄附者の獲得を図る。
イ 既存ポータルサイトでの情報発信等（12サイト）
- (3) その他 5,760千円
WEB広告に加え、寄附実績報告メールの配信や過去寄附者へのハガキ送付等を定期的に行い、返礼品及びふるさと納税の積極的なPRを図る。

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 2 働きたいまち
[政策] 3 商工業の活力が持続・発展するまちづくり
[施策] 2 地域産業・企業の支援
[主要施策] (4) ふるさと納税の推進

4 財源措置

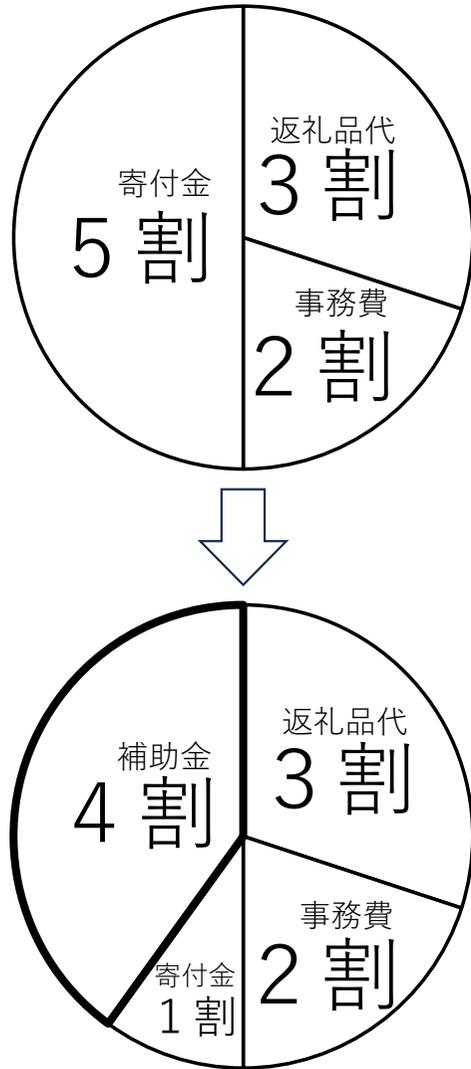
寄附金	40,000千円
一般財源	347,500千円

5 将来にわたるコスト計算

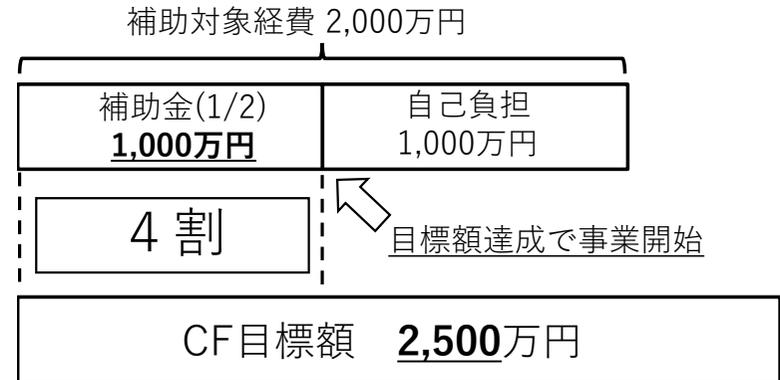
新規返礼品開発・情報発信強化・拡充により、新規寄附者の獲得とリピーターの増加を図り、寄附受入額の安定的な拡大につなげるとともに、参画事業者の拡大とクラウドファンディング型ふるさと納税による投資促進を通じて返礼品の質・量を高め、地域産業の収益向上と魅力発信の強化を実現する。

ふるさと納税推進事業費 【補足資料】

○寄付金の割合の考え方

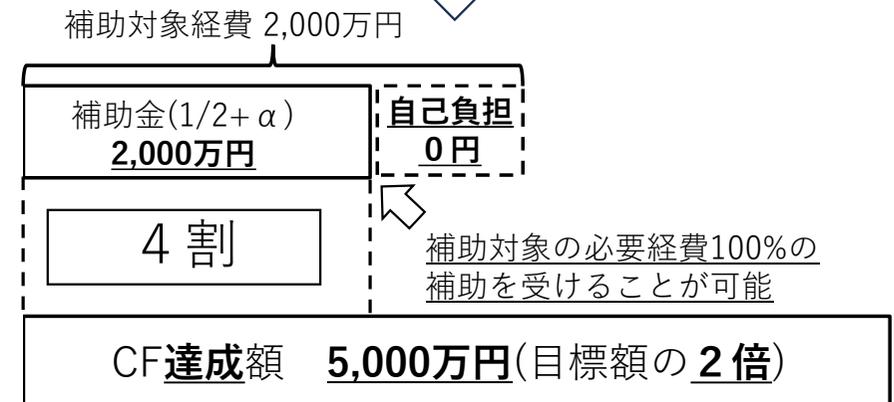


○補助金の割合の考え方



$$2,000\text{万円} \times 1/2 = 1,000\text{万円 (補助金額)}$$

$$1,000\text{万円} \div 0.4 = 2,500\text{万円 (寄付目標額)}$$



$$2,000\text{万円} \times 1/2 + 1,000\text{万円} = 2,000\text{万円 (補助限度額)}$$

$$2,000\text{万円} \div 0.4 = 5,000\text{万円 (寄付達成額)}$$

創業・継業支援事業費（予算額38,641千円）

1 背景、経緯及び効果

本市では、経営者の高齢化や後継者不足や能登半島地震の影響等により商業機能が低下していることから、地域経済の活力の維持・向上を目指し、新たな創業者や中心市街地における出店者、既存事業を引き継ぐ事業者に対して支援を行うもの。

2 事業概要

(1) 補助金及び交付金 38,540千円

制度	対象者	補助対象経費	補助率
創業支援事業補助金 【予算額 9,000 千円】	市内の新規創業者 (創業後2年以内)	店舗取得費、改装費、備 品購入費、家賃	1 / 2 上限 100 万円
		広告費	1 / 2 上限 50 万円
まちなか空き店舗等 出店支援事業補助金 【予算額 27,000 千円】	まちなかで空き店舗等 ※1 を活用し、新規出 店するもの【拡充】	店舗取得費、改装費	1 / 2 上限 500 万円※2
	まちなかの空き店舗兼 住宅の居住者かつ所有 者で店舗部分を賃貸す る予定のもの	改装費（住宅部分と店舗 部分の機能分離に係る もの）	1 / 2 上限 100 万円
継業支援事業補助金 【予算額 2,000 千円】	市内で既に事業を行っ ている者から事業を承 継するもの	店舗取得費、改装費、備 品購入費、設備の修繕 費、家賃等	1 / 2 上限 100 万円
事業承継資金保証料補 給金【予算額 540 千円】	事業承継を行おうとす る新規創業者等	事業承継に関する保証 制度を利用して受けた 融資の保証料	10 / 10

※1 都市機能誘導区域内の「空き地」の活用を含む

※2 第3期総合戦略の取組に基づく施設（飲食店、宿泊施設、シェアオフィス等）の場合は
上限5,000千円、その他は上限3,000千円

(2) とやま呉西圏域連携事業「起業・創業支援事業」負担金 101千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 2 働きたいまち
- [政 策] 3 商工業の活力が持続・発展するまちづくり
- [施 策] 2 地域産業・企業の支援
- [主要施策] (1) 起業・創業、継業の支援

4 財源措置

一般財源 38,641千円

5 将来にわたるコスト計算

事業を開始しようとする者又は事業を承継しようとする者による補助金の活用を促進し、市内に新たな事業者を増やすことで、まちのにぎわいを創出するとともに、将来にわたり、市民の雇用の確保及び税収の増加につなげる。

小規模事業者設備投資促進補助金（能登半島地震災害関連） （予算額10,000千円）

1 背景、経緯及び効果

令和6年能登半島地震により被災した小規模事業者に対し、小規模事業者持続化補助金＜災害支援枠＞が実施されていたが、第8次公募が令和7年10月27日をもって受付を終了し、第9次公募は能登3市3町のみ該当となったことから、被災からの「復旧」段階を経て「再成長」や「地域経済の活性化」に向けた取組みを進めるため、事業者が行う設備投資に対し支援を行うもの。

2 事業概要

令和6年能登半島地震の影響を受けている小規模事業者の設備投資に係る経費の一部を補助する。ただし、小規模事業者持続化補助金＜一般型 災害支援枠（令和6年能登半島地震等）＞の終了に伴う支援であるため、令和8年度の一年限りとする。

(1) 対象事業者

令和6年能登半島地震の影響を受けている小規模事業者のうち、「小規模事業者持続化補助金＜一般型 災害支援枠＞」又は「同＜一般型 通常枠＞」において不採択となった事業者であって、専門家活用等により事業計画の内容を精査し、その質を高めたもの。

(2) 対象事業

業務効率化、生産性向上、省力化、省人化に資する設備投資

（ただし、国、県及びその他の補助金等を活用していないもの。）

(3) 交付額 設備投資額の3分の2以内の額（上限額1,000千円）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 2 働きたいまち

[政策] 3 商工業の活力が持続・発展するまちづくり

[施策] 2 地域産業・企業の支援

[主要施策] (2) 企業の経営基盤の強化・変革への支援

4 財源措置

国庫支出金 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 10,000千円
（補助率10/10）

5 将来にわたるコスト計算

令和6年能登半島地震の影響を受けている事業者の設備投資を後押しし、安定した事業活動を行うことができる。

食と自然・景観を活かしたまちづくり事業費（予算額26,775千円）

1 背景、経緯及び効果

本市の「食」は里山里海の恵みや「天然の生簀」と呼ばれる富山湾の恩恵を最大限に受けている。これらを積極的に発信し、様々な切り口から食を最大の観光資源と位置付け、食のまちづくりを総合的かつ計画的に推進することを目指していくもの。また、四季を通じた食のイベント等の開催により、その魅力を発信することで、多くの人が本市を訪れる機会を創出し、交流・関係人口の拡大につなげるもの。

2 事業概要

(1) 食と自然・景観を活かしたまちづくり計画策定 13,277千円

本市の特徴である「食」を核としたまちづくりを推進するため、「食と自然・景観を活かしたまちづくり計画（仮称）」を策定する。計画策定にあたり企業意向調査アンケートや必要となる調査・分析や委員会運営、施策立案等を専門の見地から支援を受けながら計画策定を進めるため民間事業者へ業務を委託する。

(2) ひみ美食倶楽部の開催 4,665千円

本市が誇る豊かな食の魅力を生かすため、深い知識や食に精通した著名人によるトークショーやパネルディスカッションや、分科会形式の交流会イベントを開催し、食の魅力を多角的に発信する。

(3) ひみぶりフェア負担金 900千円

(4) “食都”四季を彩る氷見三昧負担金 600千円

(5) ひみの食ブランディング協議会補助金 2,118千円

氷見の寿司文化の長期的な継続・発展と寿司職人の事業継承につなげるための寿司体験教室や、交流・関係人口の拡大を図るための「夜のまちなかグル巡り」等を実施する。

(6) 四季を楽しむ食のイベントの開催 5,215千円

氷見市漁業文化交流センターにおいて小規模な食イベントを開催する。

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 2 働きたいまち

[政策] 1 食を生かしたまちづくり

[施策] 2 食を核とした地域産業の活性化 / 3 食の魅力発信の推進

[主要施策] (1) 氷見ブランドの確立とブランド力の強化 / (1) 食の魅力発信の充実

4 財源措置

国庫支出金 地域未来交付金（補助率1/2）	4,107千円
繰入金 ふるさとづくり基金繰入金	15,600千円
一般財源	7,068千円

5 将来にわたるコスト計算

食と自然・景観を活かしたまちづくり計画の策定により、魅力的なまちづくりを進め、賑わいの創出につなげる。また、食のイベントを通じた更なる交流・関係人口の拡大や観光入込数の増による観光消費額の増を図る。

獅子舞魅力発信事業費（予算額527千円）

1 背景、経緯及び効果

地域において少子高齢化が進む現状において、獅子舞振興と伝統の継承のために、ひみ獅子舞ミュージアムでの獅子舞実演会の開催や、市内の小学生をはじめとする子どもたちが獅子舞を体験できるイベントとして、ひみ獅子舞体験会を開催することで、獅子舞の伝統継承に向けた機運の醸成を図るもの。

2 事業概要

区分	内容	事業費
獅子舞実演会	ひみ獅子舞ミュージアムにおいて、獅子舞実演会を春・秋の2回開催する。	委託料 400千円 (200千円×2団体)
ひみ獅子舞体験会	①ひみ獅子舞ミュージアムにおいて、子どもたちが獅子舞道具に触れたり、獅子舞の体験や段ボールの獅子頭づくりなどを通して獅子舞を体験できるイベントを夏休み期間中に開催する。 ②氷見駅前で開催するまちなか活性化イベントに合わせて、獅子舞道具の展示や獅子舞の体験ができる獅子舞体験ブースを出展する。	委託料 127千円

委託先 ひみ獅子舞振興会
事業費 委託料 527千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 2 働きたいまち
[政策] 4 戦略的な観光の振興
[施策] 2 地域資源を生かした魅力ある地域づくり
[主要施策] (1) 氷見らしさの発揮

4 財源措置

一般財源 527千円

5 将来にわたるコスト計算

獅子舞体験や実演会を通して、獅子舞の振興による地域の活性化につなげる。

物価高対策消費拡大支援事業費（予算額78,000千円）

1 背景、経緯及び効果

食料品価格等の物価高騰の影響を受ける生活者を支援するため、氷見商工会議所が実施する地域電子通貨「ひみPay」を活用した物価高対策事業に対し、必要な経費を補助するもの。

2 事業概要

(1) 事業内容

キャンペーン期間内に氷見商工会議所が発行する地域電子通貨「ひみPay」の利用額の、30%分のポイントを還元する。

- ア ひみPay取扱店舗 315店舗（令和7年12月11日時点）
- イ ひみPay販売場所 プラファ、氷見商工会議所、観光協会、セブン銀行ATM
- ウ 対象者 ひみPayシステム利用者
- エ 1ユーザーあたりのポイント還元上限
10,000ポイント（1ポイント＝1円相当）
- オ 還元ポイント総額 63,330千円分

(2) 事業スケジュール

- 令和8年 7月 1日 ポイント還元キャンペーン期間開始
- 令和8年 9月30日 ポイント還元キャンペーン期間終了
- 令和8年10月31日 還元ポイント使用期間終了

(3) 事業費内訳

項目	金額	内容
還元ポイント	63,330千円	211,100千円×30%
手数料	9,980千円	販売手数料等
広告費	825千円	新聞、パンフレット
事務費	3,865千円	事務手数料、振込手数料、郵送料等
合計	78,000千円	

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
- [政策] 3 商工業の活力が持続・発展するまちづくり
- [施策] 2 地域産業・企業の支援
- [主要施策] (3) 地域内消費の拡大・促進

4 財源措置

国庫支出金 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（補助率10/10）
78,000千円

5 将来にわたるコスト計算

食料品等に対する物価高対策を実施し、生活者への支援や地域経済の活性化につなげる。

物価高対策観光需要喚起事業費（予算額49,450千円）

1 背景、経緯及び効果

人件費や物価の高騰の影響を受けている市内事業者に対し、本市への旅行客に対する宿泊割引キャンペーンを実施して宿泊をきっかけとした市内への観光需要を喚起することで、宿泊事業者を含めた幅広い事業への経済効果の波及を通して支援するもの。

2 事業概要

(1) 事業内容

国内最大手かつ市内の宿泊事業者が最も多く参加しているOTA（Online Travel Agentの略で、インターネット上で取引を行う旅行事業者のこと）である「楽天トラベル」を活用し、1予約あたり3千円～10千円の宿泊割引を行う「氷見旅行割キャンペーン（第3弾）」を実施する。

実施主体	（一社）氷見市観光協会
クーポン発行サイト	楽天トラベル
クーポン発行枚数	合計8,500枚を予定
実施期間	予約期間：令和8年8月16日（月）～11月12日（金） 宿泊期間：令和8年8月23日（月）～11月15日（月） （85日間）
利用基準	クーポン1回の獲得につき、市内対象宿泊施設予約1件に対し宿泊割引を行う。発行するクーポンは3種類とする。 ① 10千円割引 1,500枚（3人以上・2万円以上） ② 5千円割引 3,000枚（2人以上・1万円以上） ③ 3千円割引 4,000枚（人数制限なし・6千円以上）
その他	クーポン1枚当たり平均2.2人の宿泊（これまで実施してきた事業の結果による推計）があると推計し、合計18,700人の誘客を見込む。

(2) 事業費 補助金 49,450千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 5 活気にあふれる地域づくり
- [施策] 3 多様な交流の推進
- [主要施策] (1) 交流・関係人口の創出・拡大

4 財源措置

国庫支出金 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（補助率10/10）
49,450千円

5 将来にわたるコスト計算

キャンペーンの実施により、観光入込数の増や観光消費額の増につなげる。

現年農地施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）
（予算額 4 1 2, 0 0 0 千円）

1 背景、経緯及び効果

令和 6 年能登半島地震により被災した農地・農業用施設の復旧を行い、農業生産の安定を図るもの。

2 事業概要

能登半島地震により被災し、災害査定を受けた 1 2 5 件のうち、残りの 2 1 件の農業用施設を復旧する。

【事業費】

工事請負費	4 0 0, 0 0 0 千円	（農業用施設 2 1 件）
事務費	1 2, 0 0 0 千円	
合計	4 1 2, 0 0 0 千円	

3 第 9 次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 1 災害に強い安全・安心なまちづくり
- [施策] 3 災害に強い都市基盤の整備
- [主要施策] (1) 土砂災害防止対策の推進

4 財源措置

県支出金	農林施設災害復旧費補助金 （補助率：農業用施設 9 5. 8 %）	3 8 3, 2 0 0 千円
市債	補助災害復旧事業債 （充当率 9 0 % 交付税算入率 9 5 %）	2 5, 9 0 0 千円
一般財源		2, 9 0 0 千円

5 将来にわたるコスト計算

被災した農地及び農業用施設の早期復旧を図ることにより、農業基盤の維持と安定につなげる。



除雪DX推進事業費（予算額22,293千円）

1 背景、経緯及び効果

GPS除雪管理システムを導入するとともに、幹線道路などにWEBカメラを設置することにより、除雪対策業務の効率化及び市民サービスの向上を図るもの。

2 事業概要

(1) GPS除雪管理システムの導入

市内145台の除雪車にGPS発信器を取り付けて、GPS除雪管理システムと連携することで除雪日報の作成などの業務の効率化を図るとともに、リアルタイムで除雪状況を把握することにより、市民からの問い合わせへの迅速な対応が可能になる。

(2) WEBカメラの設置

市道北八代堀田線他8路線11箇所にカメラを設置し、道路状況を常時確認できる環境を構築する。

(3) 事業費内訳

GPS除雪管理システム	16,412千円
WEBカメラ設置	5,577千円
その他（電気料・通信費など）	304千円

(4) 事業スケジュール

令和8年4～5月	業者選定
6～10月	除雪管理システム導入、WEBカメラ設置
11月～	運用開始

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 1 災害に強い安全・安心なまちづくり
- [施策] 3 災害に強い都市基盤の整備
- [主要施策] (3) 雪害防止対策の推進

4 財源措置

国庫支出金	社会資本整備総合交付金（補助率2/3）	5,552千円
市債	過疎対策事業債（充当率100% 交付税算入率70%）	7,700千円
一般財源		9,041千円

5 将来にわたるコスト計算

除雪業務の効率化を図ることで、持続可能な除雪体制を確保し冬期における安全・安心な道路環境の確保につなげる。

現年公共土木施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）
惣領大窪線2号橋災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）
(予算額2,000,000千円)

1 背景、経緯及び効果

能登半島地震により被災した市道の復旧を行うもの。

2 事業概要

(1) 現年公共土木施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連） 1,900,000千円

費目	内容	事業費(千円)
工事費	道路災害復旧工事70件	1,749,100
委託費	測量設計委託1件	6,000
補償費	仮設道路の借上補償料など	2,000
修繕費	1式	50,000
事務費	人件費、消耗品、賃借料など	92,900
合計		1,900,000

(2) 惣領大窪線2号橋災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連） 100,000千円

- ア 事業箇所 仏生寺地内
- イ 工事内容 橋梁復旧工事
- ウ 事業費

250,000千円（工事請負費：令和8年度～10年度）※継続費を設定

（令和8年度100,000千円、令和9年度100,000千円、令和10年度50,000千円）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

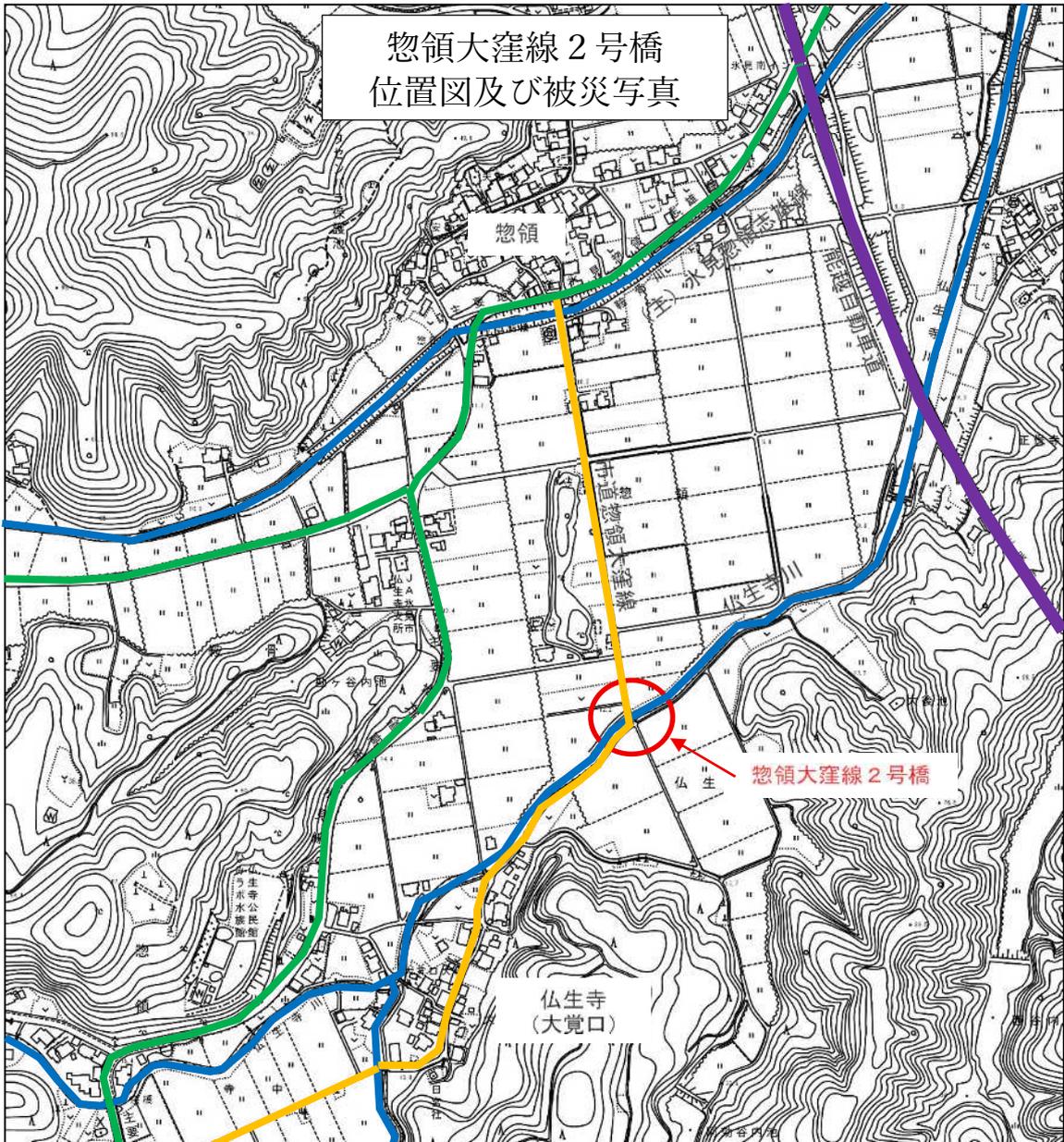
- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 1 災害に強い安全・安心なまちづくり
- [施策] 3 災害に強い都市基盤の整備
- [主要施策] (2) 浸水被害防止対策の推進

4 財源措置

国庫支出金	公共土木施設災害復旧費負担金 (負担率91.2%)	1,693,675千円
市債	補助災害復旧事業債 (充当率100% 交付税算入率95%)	306,300千円
一般財源		25千円

5 将来にわたるコスト計算

被災した市道を早期復旧することにより、車両及び歩行者の通行の安全と市民生活の安定を図る。



市道災害復旧工事 発注計画と進捗状況

R8.2.9現在

番号	工事番号	箇所名 (河川・路線名等)	大字	復旧延長 (m)	発注計画 進捗状況
1	178	市道阿尾島田線他3路線	阿尾他	130.0	R7.8.29工事完了
2	180	市道三尾見内線	葛葉	26.1	R6.10.31工事完了
3	181	市道間島4号線他2路線	間島他	179.9	R7.8.20工事完了
4	183	市道谷村2号線他1路線	余川	83.7	R7.3.18工事完了
5	187	市道鞍川1号線(その1箇所)他8路線	鞍川	525.4	R7.12.26工事完了
6	213	市道鞍川霊峰線	鞍川	20.9	R6.10.30工事完了
7	185	市道朝日地蔵2号線(その1箇所)他1路線	地蔵町	37.1	R7.8.29工事完了
8	186	市道朝日丘住宅1号線他1路線	朝日丘	69.3	R7.6.27工事完了
9	212	市道藪田見田窪線(その3箇所)	藪田	410.0	R7.7.18工事完了
10	236	市道柳田東8号線他5路線	柳田他	1145.8	R6.8.30契約R8.3.23まで
11	241	鞍川地内消雪ポンプ施設	鞍川	11.3	R7.7.31工事完了
12	243	市道池田浜1号線	北大町	218.4	R7.8.29工事完了
13	245	市道朝日川原2号線他4路線	本町他	149.9	R7.12.5完了
	298	市道水見田江線(※舗装は別途発注)	伊勢大町2丁目	102.5	
14	273	市道諏訪野9号線他7路線	諏訪野他	596.3	R7.3.24契約 R8.3.23まで
	330	市道村上朝日線(その2箇所)	朝日本町	193.4	
	356	市道栄町住宅2号線他2路線	栄町外	384.4	
15	179	市道稻積一勿線	稻積	70.0	R7.3.21契約 R8.3.23まで
	214	市道上稻積10号線 他3路線	稻積	206.4	
	230	市道水見大野線	大野新	132.5	
	327	市道横羽毛中央線他3路線	鞍川	729.9	
	363	市道加納南1号線他1路線	加納	519.8	
16	211	市道園9号線 他3路線	園	377.1	R7.3.24契約 R8.3.16まで
	238	市道島尾東13号線	島尾	51.6	
	266	市道下田子1号線他4路線	下田子他	420.5	
	309	市道宮田3号線	宮田	50	
	322	市道上泉下田子2号線	上泉	184.5	
	354	市道柳田東9号線他9路線	柳田外	1379.4	
17	175	市道白川向出線	白川	41.6	R7.8.4契約 R8.3.23まで
	176	市道脇方裏出2号線	脇方	39.8	
	177	市道藪田見田窪線(その1箇所)他3路線	藪田	262.8	
	289	市道中田平沢線他1路線	中田他	159.2	
	357	市道大境1号線他2路線	大境	420.3	
	367	市道北八代堀田線(その3箇所)他3路線	余川	1146.9	
	374	市道脇方裏出1号線他1路線	脇方	112.5	
	375	市道宮の腰支線	小杉	33.0	
18	302	市道熊無一の瀬線	上余川	188.8	R7.8.4契約 R8.3.23まで
	276	市道深原三田窪線(その3箇所)他1路線	矢田部	286.5	
	274	市道大浦団地1号線他5路線	大浦	545.8	
	304	市道中尾沢1号線他2路線	鞍川他	310.1	
	320	市道熊無中田線他4路線	熊無他	549.2	
	209	市道日詰早借線 他2路線	日詰	92.0	
	310	市道早借3号線	早借	47.7	
	376	市道小久米線	小久米	209.2	
19	303	市道触坂飯の田線	触坂	80.5	R7.8.4契約 R8.3.23まで
	216	市道坂津線(その1箇所)他1路線	万尾	94.0	
	253	市道矢崎清水線(その2箇所)他1路線	十二町	133.1	
	307	市道川尻4号線他1路線	川尻他	339.8	
	331	市道川尻1号線他1路線	川尻	414.8	
	353	市道中谷内惣領線(その4箇所)	粟原	239.7	
	377	市道上久津呂粟原線(その2箇所)	上久津呂	155.0	
	255	市道布施川田線他1路線	布施	267.6	
269	市道深原三田窪線(その1箇所)他3路線	矢田部	328.9		

番号	工事番号	箇所名 (河川・路線名等)	大字	復旧延長 (m)	発注計画 進捗状況
	381	市道布施中村線	布施	244.8	
	263	市道大浦3号線他6路線	大浦他	794.4	
	277	市道惣領矢田部線他2路線	惣領他	256.5	
	301	市道吉池山川線	仏生寺	61.2	
	329	市道脇之谷内勝木原線	仏生寺	498.2	
20	316	市道胡桃天狗岳線	胡桃	8.6	R7.7.31契約 R8.3.23まで
	323	市道森寺親田線	森寺	20	
21	233	市道柿谷上田線他1路線	上田	111.1	R7.7.25契約 R8.3.23まで
	250	市道栗屋大橋線	中村	8	
	293	市道上庄中央線	柿谷	77	
	308	市道早借上田線	上田	23.2	
	334	市道柿谷向出線	柿谷	64.7	
333	市道日名田熊無線	日名田	129		
22	256	市道環状北線	大野他	328.8	R7.8.30契約R8.3.23まで
23	182	市道加納野線	栄町	62.0	R7.11.28契約 R8.3.23まで
	291	市道寺尾飯山線(その1箇所)	寺尾	183.5	
	292	市道寺尾飯山線(その2箇所)	寺尾	63.8	
	306	市道川尻6号線他1路線	川尻	320.8	
24	298	市道水見田江線(舗装のみ)	伊勢大町2丁目	102.5	R8.2.19入札予定
	364	市道下田子海老坂線(その2箇所)	上田子	196.4	
25	379	市道下田子海老坂線(その3箇所) 他1路線	下田子外	288.7	R8.2.19入札予定
26	350	市道北八代堀田線(その2箇所) 白鷺橋	川尻	152.7	R8.3.18入札予定
R7年度まで小計		74件発注予定(内12件完了)			
27	184	市道宗源寺2号線	北大町	55.0	R8工事発注予定(設計委託中)
28	190	市道白川中央線他2路線	白川	252.0	R8工事発注予定(下水道復旧あり)
29	191	市道宇波宮脇線	宇波	48.4	〃
30	192	市道藪田農協線	藪田	81.2	〃
31	193	市道阿尾向田線他1路線	阿尾	760.0	〃
32	194	市道下稻積野線	稻積	36.0	〃
33	195	市道谷村1号線他1路線	余川	118.2	〃
34	196	市道有機1号線(その1箇所)他1路線	鞍川	253.1	〃
35	197	市道間島海岸線	間島	17.3	R8工事発注予定(液状化協議あり)
36	210	市道西朴木1号線他2路線	西朴木	287.0	R8工事発注予定(下水道復旧あり)
37	215	市道小窪3号線他1路線	小窪	67.5	〃
38	217	市道下稻積1号線	稻積	60.3	〃
39	231	市道鞍川1号線(その2箇所)	大野新	56.5	〃
40	234	市道飯久保住宅13号線	飯久保	118.1	〃
41	235	市道神代飯久保線他4路線	飯久保	518.1	〃
42	237	市道宮田6号線	宮田	50	〃
43	239	市道鞍骨辰出線他2路線	鞍骨	162.9	〃
44	240	市道鞍骨中央線他3路線	鞍骨	85.6	〃
45	242	市道藪田南線	藪田	206.6	〃
46	244	市道湊川右岸線他3路線	本町他	197.5	〃
47	246	市道湊川左岸線他2路線	朝日本町他	247.8	〃
48	247	市道紅谷加納線	大野	283.5	〃
49	248	市道鞍川住易線他6路線	泉他	1026.8	〃
50	249	市道七分一上山岸支線他1路線	七分一他	156.2	〃
51	252	市道島崎水島線他4路線	十二町	321.8	〃
52	254	市道布施宮の前線	布施	247.8	〃
53	257	市道大野坂津線他5路線	大野他	1541.2	〃
54	264	市道中谷内惣領線(その1箇所)他7路線	粟原他	1754.4	〃
55	265	市道浦出脇之谷内線他2路線	粟原	218.6	〃
56	267	市道阿尾海岸線他1路線	阿尾	571.3	〃

番号	工事番号	箇所名 (河川・路線名等)	大字	復旧延長 (m)	発注計画 進捗状況
57	268	市道諏訪野宗源寺線他1路線	北大町他	534.7	〃
58	270	市道深原三田窪線（その2箇所）他3路線	矢田部	1813.1	〃
59	271	市道下田子2号線他1路線	下田子	196.9	〃
60	272	市道惣領1号線他2路線	惣領他	584.8	〃
61	275	市道中谷内惣領線（その2箇所）他9路線	下久津呂他	1123.6	〃
62	290	市道藪田見田窪線（その2箇所）	藪田	642	R8工事発注予定（設計委託中）
63	294	市道藪田南線（その2箇所）他1路線	藪田	153.5	R8工事発注予定（下水道復旧あり）
64	295	市道早借1号線	早借	184.5	〃
65	296	市道湖光線他1路線	湖光他	1164.6	〃
66	297	市道有機1号線（その2箇所）	幸町	128	〃
67	299	市道地藏海岸線（その3箇所）	窪	26	〃
68	300	市道石坊川線	大浦	100.7	R8工事発注予定（設計委託中）
69	305	市道大浦中島1号線他1路線	中島	80.8	〃
70	317	市道鞍川稻積線（その2箇所）	加納	314.5	〃
71	318	市道幸町5号線他3路線	幸町	352.3	〃
72	319	市道氷見駅朝日線（その1箇所）	伊勢大町1丁目	277.5	R8工事発注予定（下水道復旧あり）
73	321	市道中谷内惣領線（その3箇所）	矢田部	40.1	R8工事発注予定（設計委託中）
74	324	市道上庄川左岸線（その1箇所）	北大町	470.7	〃
75	325	市道七軒上庄川線他1路線	幸町	552.8	〃
76	326	市道池田氷見駅線（その2箇所）他2路線	朝日本町他	910.9	R8工事発注予定（下水道復旧あり）
77	328	市道鞍川向島2号線	鞍川	106.2	〃
78	332	市道久保2号線	上余川	101.6	〃
79	335	市道津野線他2路線	十二町	790.5	〃
80	347	市道加納南2号線（その2箇所）他2路線	加納	486.0	R8工事発注予定（設計委託中）
81	348	市道上庄川右岸線（その1箇所）他1路線	中央町	174.0	R8工事発注予定（下水道復旧あり）
82	349	市道北八代堀田線（その1箇所）	十二町	614.3	R8工事発注予定（設計委託中）
83	352	市道惣領大窪線（その2箇所） 惣領大窪線2号橋	仏生寺	13.7	〃
84	355	市道白上3号線 他2路線	阿尾	382.9	R8工事発注予定（農地災害復旧あり）
85	358	市道三尾見内線（その2箇所）	三尾	109.8	R8工事発注予定（設計委託中）
86	359	市道加納南2号線（その1箇所）他1路線	諏訪野	223.2	R8工事発注予定
87	360	市道池田氷見駅線（その1箇所）他1路線	北大町外	833.3	R8工事発注予定（下水道復旧あり）
88	361	市道有機2号線他1路線	幸町	119.8	〃
89	362	市道氷見駅朝日線（その2箇所）	朝日丘	93.5	R8工事発注予定
90	365	市道上庄川右岸線（その2箇所）	中央町外	902.6	R8工事発注予定（設計委託中）
91	366	市道荒館線他7路線	十二町	1634.9	R8工事発注予定（下水道復旧あり）
92	368	市道金谷谷村線（その1箇所）	余川	891.0	〃
93	369	市道池田海岸線（その1箇所）他1路線	北大町	301.3	R8工事発注予定（設計委託中）
94	370	市道池田海岸線（その2箇所）	北大町	232.7	〃
95	378	市道中谷内下久津呂線（その2箇所）	下久津呂	92.4	R8工事発注予定（下水道復旧あり）
96	380	市道上泉3号線	上泉	131.5	〃
97	382	市道飯久保大覚口線（その2箇所）	飯久保	209.5	〃
R8年度小計		71件発注予定			
98	351	市道新町今町線他4路線	比美町外	624.0	液状化対策エリア（R8設計委託予定）
R9年度以降小計		1件発注予定			
合計		146件			

都市公園民間活力導入検討事業費（予算額671千円）

1 背景、経緯及び効果

都市公園法改正により、都市公園の再整備や管理運営において、民間事業者等の資金やノウハウを活用できる「パークPFI」の導入が可能となっており、本市においても、持続可能なまちづくりのため、市民サービスの向上や、交流人口・関係人口の維持・拡大に寄与する公園等の再整備に取り組むため、財政負担を軽減しつつ、公園利用者の利便性向上を図ることが期待できる「パークPFI」の導入についての検討を行うもの。

2 事業概要

委託料 都市公園民間活力導入検討基礎調査業務 671千円

【事業内容】

Park-PFI 推進支援ネットワークを活用したサウンディング型市場調査を実施し、本市の都市公園における導入可能性を調査するもの。

【対象都市公園】

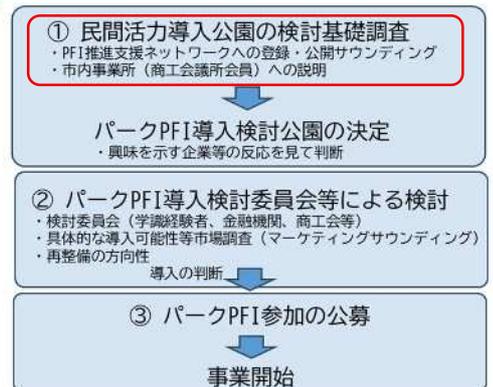
3都市公園（朝日山公園、島尾海浜公園、十二町瀧水郷公園）

公募設置管理制度(Park-PFI)の概要

- 都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き
- 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される



・導入までの流れ（例）



【サウンディング型市場調査】

民間の市場性・ニーズ・具体的な参入意欲を公開アンケート形式で調査するもので、本市の都市公園における関心度、民間アイデアの収集、参入しやすい公募条件づくり、事業化のリスク低減に役立つもの。

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 3 快適で住みやすい都市環境の整備
- [施策] 2 快適な生活基盤の構築
- [主要施策] (1) 公園・緑地の充実

4 財源措置

一般財源 671千円

5 将来にわたるコスト計算

今後増大する維持管理費や再整備に要する費用について、パークPFIの導入などを検討し、財政負担を軽減しながら魅力ある都市公園づくりをはじめ、交流人口、関係人口の拡大につなげる。

安全・安心とやまの住まい耐震化促進事業費
(予算額44,417千円)

1 背景、経緯及び効果

地震発生時における木造住宅等の倒壊等による災害を未然に防止するため、住宅の耐震改修及び危険なコンクリートブロック塀等の撤去・建替えに対し、その費用の一部を助成している。令和8年度より制度を拡充し、耐震シェルター設置・購入に要する費用に対する補助を追加し、地震から生命と財産を守るための支援制度の充実を図るもの。

2 事業概要

- (1) 旧基準木造住宅（旧耐震）の耐震改修（設計費・工事費）
（補助率：対象経費の4/5 上限1,400千円） 15棟分 21,000千円
※耐震改修工事は4/5、上限120万円。耐震改修のための計画策定は2/3、上限20万円）
- (2) 被災住宅（旧耐震・新耐震ともに）の耐震改修（工事費）
（補助率：対象経費の4/5 上限1,400千円） 15棟分 21,000千円
- (3) 危険ブロック塀の撤去及び建替え
（補助率：対象経費の2/3 上限180千円） 3件分 540千円
- (4) 耐震シェルターの設置・購入【新規】
（補助率：対象経費の2/3 上限600千円） 3件分 1,800千円
- (5) その他（PRのための郵便料金） 77千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 1 住みたいまち
- [政策] 3 快適で住みやすい都市環境の整備
- [施策] 2 快適な生活基盤の構築
- [主要施策] 2 住宅環境の整備

4 財源措置

国庫支出金	社会資本整備事業交付金（補助率1/4）	11,123千円
県支出金	木造住宅耐震改修支援事業補助金（補助率1/2）	22,170千円
一般財源		11,124千円

5 将来にわたるコスト計算

地震発生時における木造住宅等の倒壊等を未然に防ぎ、市民の生命・身体の安全を確保する。

学校給食支援事業費（予算額165,871千円）

1 背景、経緯及び効果

小学校における国の学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）を実施するとともに、小学校給食費の基準額超過部分についても全額負担するほか、中学校給食費を令和7年度の半額補助から全額補助に拡充し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るもの。

2 事業概要

(1) 小学校・義務教育学校（前期） 97,241千円

ア 国支援基準額（月額5,200円）によるもの 79,565千円（県10/10）

イ 市支援分（国支援分との差額） 17,676千円（国10/10）

・令和8年度給食費（市内）月額約6,300円～6,700円

・対象児童数

市内の学校通学者 1,391人

市外の学校通学者 18人（学校設置者が全額支給しない場合のみ）

合計 1,409人

・年間日数 204日

(2) 中学校・義務教育学校（後期） 68,630千円

ア 市支援分 68,630千円（国10/10）

・令和8年度給食費（市内）月額約7,300円～7,400円

・対象生徒数

市内の学校通学者 841人

市外の学校通学者 14人

計 855人

・年間日数 204日

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 3 育てたいまち

[政策] 2 仕事と両立できる子育て支援の充実

[施策] 1 子育ての充実

[主要施策] (1) 子育て家庭への支援の充実

4 財源措置

国庫支出金 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（補助率10/10）

86,306千円

県支出金 給食費負担軽減交付金（補助率10/10）

79,565千円

5 将来にわたるコスト計算

支援を実施することにより、栄養バランスや量を保った学校給食を提供するうえでの、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりにつなげる。

学びの機会支援事業費（予算額9,623千円）

1 背景、経緯及び効果

文部科学省による「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」では、県内の不登校児童生徒数は過去最多となっている。本市においても、不登校児童生徒数は年々増加傾向を示しており、その要因も多様化している。学校では、不登校児童生徒への対応だけでなく、登校しても教室に入れず、別室で対応するケースや、個別の配慮を要する児童生徒が多くなっている現状である。また、教育支援センター「あさひ」への相談件数（新規）が増加していることにより、保護者・児童生徒・学校及び関係機関を迅速、かつ適切につなぎ、支援する人材確保が急務となっているもの。

2 事業概要

不登校から学校復帰する段階にある児童生徒や、不登校の兆候がみられる児童生徒が、学校内において、自分にあったペースで学習・生活できる環境として、比美乃江小学校に加えて、窪小学校に校内教育支援センターを設置し、支援員1名を配置する。

【事業費】

人件費（校内教育支援センター支援員の報酬、職員手当、共済費）	8,990千円
旅費（校内教育支援センター支援員及び教育相談員）	282千円
備品購入費	351千円

※教育支援センター「あさひ」教育相談員4名分の人件費は、別途総務課予算として計上

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標]	3	育てたいまち
[政策]	3	次代を担う子どもの育成
[施策]	1	学校教育の充実
[主要施策]	(5)	個別のニーズに応じた教育

4 財源措置

県支出金	校内教育支援センター支援員配置補助事業費補助金 (補助率2/3)	3,297千円
繰入金	教育文化振興基金繰入金	6,300千円
一般財源		26千円

5 将来にわたるコスト計算

校内教育支援センター支援員の配置により、不登校傾向にある児童生徒の学習支援や相談支援を行うことで、誰一人取り残されない学びの保障につなげる。

教育文化センター機能強化推進事業費（予算額11,611千円）

1 背景、経緯及び効果

竣工から43年が経過し、老朽化が著しい氷見市教育文化センターの機能強化を図るための施設・設備の改修等について検討を行うもの。

2 事業概要

教育文化センターの耐震補強、空調改修、長寿命化が喫緊の課題となる中で、施設の現状の把握と、市民ニーズや社会的要請に応じた利用環境の整備に必要な工事内容の検討を行う。

また、教育文化センターを、楽しみながら、集い、学ぶことができる複合施設として、そして、市に対する誇りと愛着を育む「ふるさと教育」を推進する施設として活用するプログラムを構築するなど、ソフト面についても機能強化を図る。

これらの検討にあたっては、ワークショップを開催し、若者をはじめとする利用者や地域住民との意見交換を行いながら進めていく。

【事業費】

教育文化センター改修・機能強化検討業務委託料	9,022千円
教育文化センター活用プログラム（ふるさと教育等）構築業務委託料	2,517千円
ワークショップ開催に伴う経費（アドバイザー謝金、消耗品等）	72千円
合 計	11,611千円

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
- [政 策] 4 芸術文化や学びの充実
- [施 策] 1 ふるさと教育の充実
- [主要施策] (1) 氷見に誇りと愛着を持つふるさと教育の推進

4 財源措置

一般財源 11,611千円

5 将来にわたるコスト計算

長期的な視点において施設の持続可能な再生・維持を図るとともに、ふるさと教育を推進する施設としての機能強化を図ることで利用者の増につなげる。

ふれあいスポーツセンター長寿命化改修事業費 (予算額296,371千円)

1 背景、経緯及び効果

開設から26年が経過しているふれあいスポーツセンターについて、屋根（天井）の腐食が判明したことから、改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るもの。

2 事業概要

令和8年度から令和9年度において、屋根（天井）の腐食部分の改修と浸水を防ぐ屋根全体の防水工事などの屋根改修工事を行う。

(1) 事業費（工事請負費及び委託料について令和8年度～9年度の継続費を設定）

- ア 委託料（工事監理委託） 34,455千円（令和8年度～9年度）
（令和8年度13,782千円、令和9年度20,673千円）
- イ 工事請負費（屋根改修工事） 689,075千円（令和8年度～9年度）
（令和8年度275,630千円、令和9年度413,445千円）
- ウ 事務費 6,959千円
- エ 継続費 単位：千円

区分	令和8年度	令和9年度	計
委託料	13,782	20,673	34,455
工事請負費	275,630	413,445	689,075
計	289,412	434,118	723,530

(2) 事業スケジュール

- 令和8年4月 入札
- 6月～12月 I期工事（屋根中央部分の防水工事）
- 令和9年5月～11月 II期工事（腐食部分の木工事、屋根両端部分の防水工事）

3 第9次氷見市総合計画との整合性

- [基本目標] 3 育てたいまち
- [政策] 4 芸術文化や学びの充実
- [施策] 4 スポーツの推進
- [主要施策] (1) 生涯にわたりスポーツを楽しむ環境づくり

4 財源措置

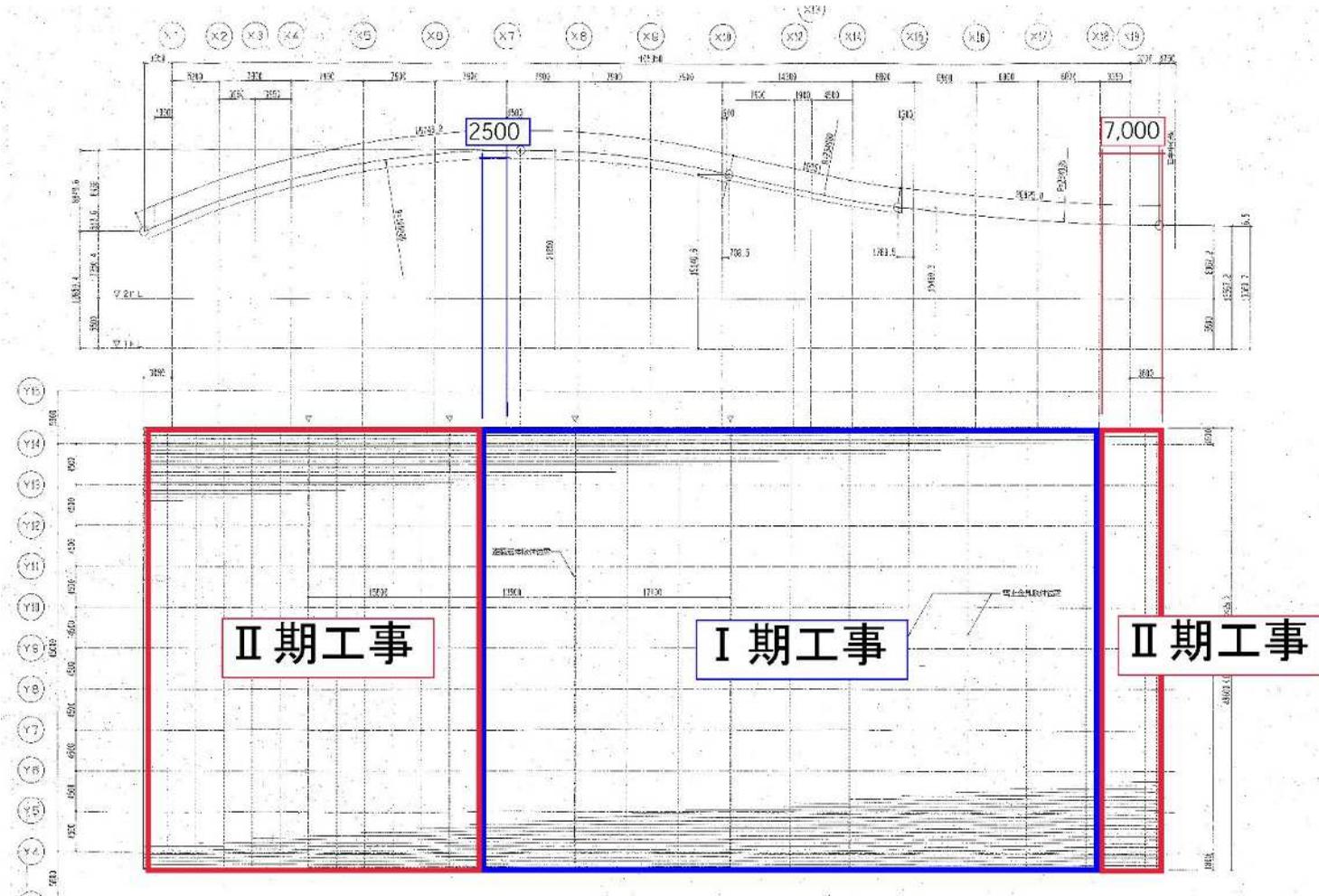
国庫支出金	社会資本施設整備総合交付金（補助率1/2）	50,000千円
市債	過疎対策事業債 （充当率100% 交付税算入率70%）	246,300千円
一般財源		71千円

5 将来にわたるコスト計算

施設を計画的に修繕、改修及び設備更新などを行うことで、利用者の安全確保に努めるとともに、利用者の増加につながり、健全な施設運営を図ることができる。

ふれあいスポーツセンター長寿命化改修事業 723,530千円

- ・費用の平準化と工期の確保のため、工期を2期に分割し、2カ年で施工を行う
- ・R6基本設計、R7実施設計、R8～9本工事実施



R7年度
実施設計



R8年度
1期工事
防水工事



R9年度
2期工事
木工事、防水工事

工事費724百万円

市議会議員選挙費（予算額43,449千円）

1 背景、経緯及び効果

令和8年11月13日に任期満了を迎える氷見市議会議員選挙を執行する。

また、低下傾向にある投票率の向上に向けた取組みを進め、できるだけ幅広い民意を選挙に反映させることを目指すもの。（H26：74.1% H30：66.7% R4：59.0%）

2 事業概要

(1) 投票率の向上に向けた取組み【新規】

ア 南部地域における期日前投票所の設置

【設置場所】 マックスバリュ氷見店

【設置期間】 期日前投票最終日（土曜日）午前9時～午後4時

イ 氷見高校の生徒を対象とした期日前投票所の設置

【設置場所】 氷見高等学校

【設置期間】 期日前投票日初日（月曜日）※時間は未定

ウ 過去に廃止となった投票区における期日前投票所の設置

【設置場所】 旧八代第2投票区、旧碁石第3投票区

【設置期間】 期日前投票期間のうち1日 ※時間は未定

【設置方法】 移動投票バスの運行または集会場での投票

(2) 事業費

委託料	15,165千円	（ポスター掲示場設置業務、投票所入場券作成業務等）
補助及び交付金	22,567千円	（選挙運動用公費負担）
その他	5,717千円	（印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料等）
計	43,449千円	

3 第9次氷見市総合計画との整合性

[基本目標] 4 市民とともにつくる持続可能なまち

[政策] 1 市民主体のまちづくり

[施策] 1 まちづくりへの市民参画の推進

[主要施策] (1) 市政への参画機会の充実

4 財源措置

一般財源 43,449千円

5 将来にわたるコスト計算

低下傾向にある投票率の向上に向けた取組みを進め、できるだけ幅広い民意を選挙に反映させる。